

春日部市

大規模建築物等景観形成ガイドライン

しあわせに住まう春日部の景観の魅力を磨き

次世代に引き継ぐために

はじめに

春日部市は江戸川や中川、大落古利根川などの豊かな水辺に恵まれ、また日光道中の宿場町としての面影を残しながら埼玉県東部地域の中心都市として発展を続けています。

都市づくりにおいて都市機能の充実と都市生活の利便性に加え、快適性や、ゆとりと潤いある都市環境の創出が求められる中、合併前の旧春日部市では、平成4年4月に「春日部市都市景観形成基本計画」を策定し、翌5年4月には春日部市都市景観条例を施行し、良好な都市景観の形成に取り組んできました。

その後、平成16年6月に景観法が制定され、さらに平成17年10月1日には春日部市と庄和町の合併により市域が拡大され、景観形成基本計画の見直しが必要となり、あわせてこれまで自主条例で対応していた景観施策に関して、景観法を活用した抜本的な見直しを行いました。

これまでの施策等を引き継ぎながら、本市にふさわしい良好な景観形成に向けて景観法に基づく「春日部市景観計画」を策定し、これを運用する「春日部市景観条例」を制定しました。

この条例では、一定規模以上の大規模な建築物や工作物等を対象とした「景観形成基準」と大規模行為の届出について定めています。良好な都市の景観は、多くの人々によって作りあげられるものであり、大規模な建築物等は、地域の魅力ある景観をつくる要素として大きく期待されています。そして、この届出制度は、みなさんが景観づくりに具体的に取り組むための仕組みといえます。

このガイドラインは、計画される大規模建築物等が「景観形成基準」に適合し、春日部市の都市景観をより魅力あるものとするため確認していただきたい事項をまとめたものです。

このガイドラインを積極的に活用し、地域の特性を活かしながら周辺の景観と調和した計画・設計をすすめ、親しみや愛着をもたれる施設づくりに取り組まれることを願うものです。

ガイドラインの構成と使い方

計画している事業の内容に応じて、なるべく早い段階からガイドラインを活用してください。また、景観づくりに関するご相談は都市計画課で受け付けています。

ガイドラインの構成

このガイドラインは、大きく4つの部門から構成されております。

1.景観づくりに取り組むために

景観づくりに取り組むにあたっての基本的な視点を整理しています。

2.計画づくりのためのステップ

景観づくりに取り組むためには、まちについて考え、テーマをつくることが大切です。そしてこのテーマが計画に結びつきます。企画や構想の段階で、景観づくりのテーマを設定するために4つのステップにまとめています。

- Step 1 景観づくりを大きくとらえる
- Step 2 まちを調べる
- Step 3 景観づくりのテーマを設定する
- Step 4 よりよい景観づくりに向けて配慮・工夫する

3.まちに魅力を与えるデザイン

テーマを設定し、計画から設計へと具体化するときの考え方や手法を施設別と項目別にまとめています。

- 施設別の景観づくりの配慮事項
(住居系施設、商業・業務系施設、沿道利用系施設、工業系施設)
- 敷地の計画
- 要素のデザイン
(建築物のデザイン、工作物のデザイン、広告物のデザイン、色彩のデザイン)
- 外部空間のデザイン
(スペースのデザイン、境界のデザイン、緑のデザイン、外部空間の演出)
- 維持管理の計画

4.景観形成基準

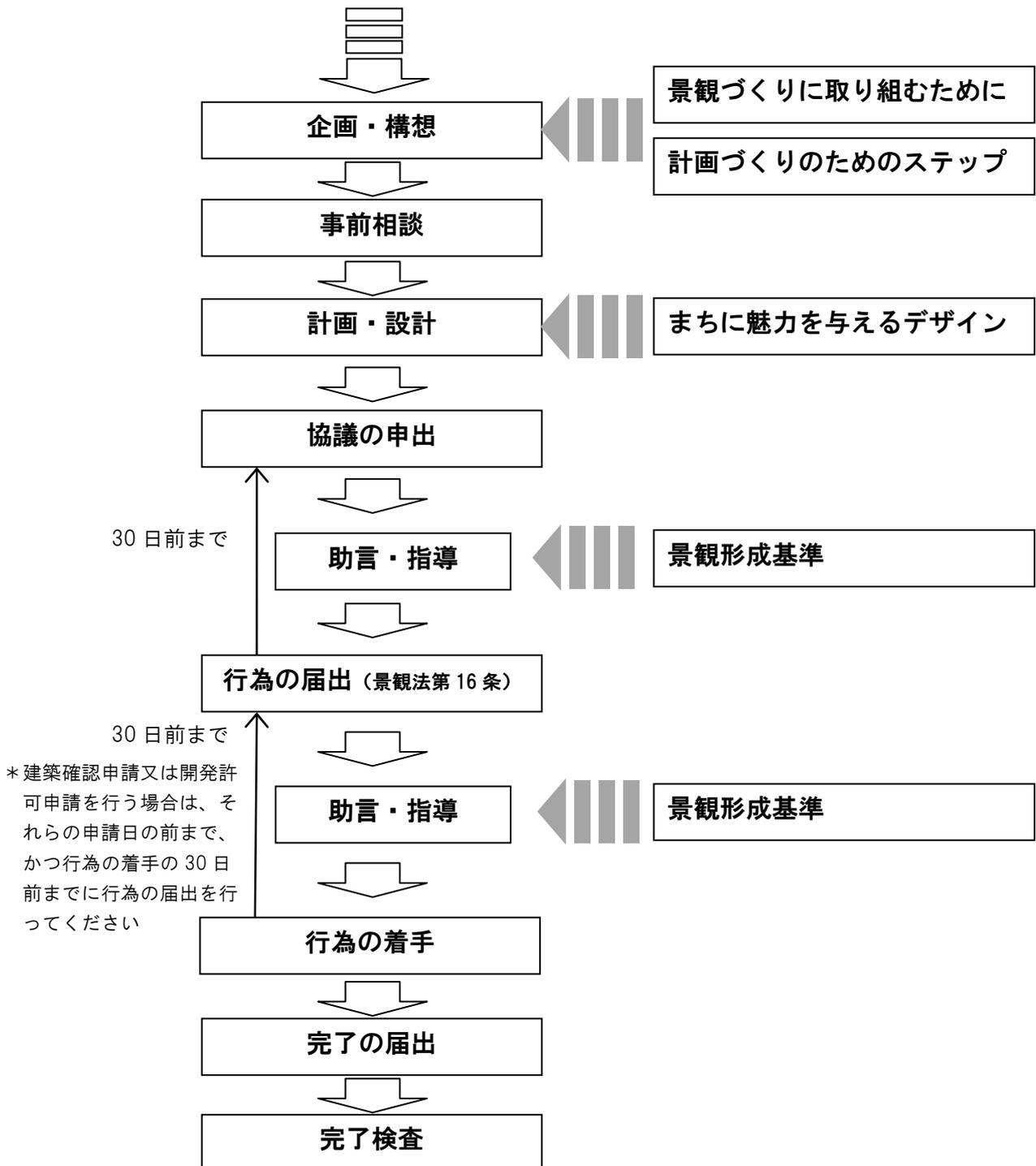
届出のあった計画に対しては、「景観形成基準」に適合しているかの確認とともに、景観形成の方針等に基づいた助言、指導を行います。

届出が必要な行為

春日部市景観条例施行規則第 11 条、第 12 条に定める規模の建築物、工作物、開発行為などを指します。

届出等の手続き

大規模な建築物等をつくろうとするとき



1. 景観づくりに取り組むために

景観は、人が存在し、生活することと環境とのかかわりとしてとらえることができます。景観づくりに取り組むときには、そのかかわりについて考えることが大切です。

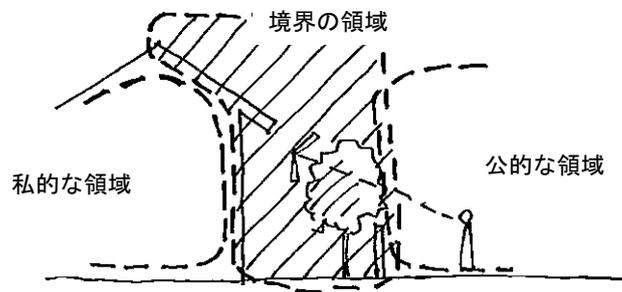
景観づくりのとらえ方

「景観」は、様々な側面からとらえることができます。ここでは、景観づくりに向けて必要となる基本的なとらえ方を整理します。

●空間的にとらえる

みなさんが計画している大規模建築物等は、多くの人から見られる対象となります。そのようなことから、景観づくりは、多くの人が目にするという意味で公共的な性格を持っているといえるでしょう。都市空間の領域は、次の3つに区分できます。

- ・ 公的な領域……道路、公園などの公共のスペース
- ・ 私的な領域……敷地内の空間のうち、外部から見えない空間
- ・ 境界の領域……公的な領域と私的な領域の間にある建築物の外壁、門、樹木など



つまり、みなさんの景観づくりには、公共的な性格を持っている境界の領域をどうデザインするかが重要であるといえます。

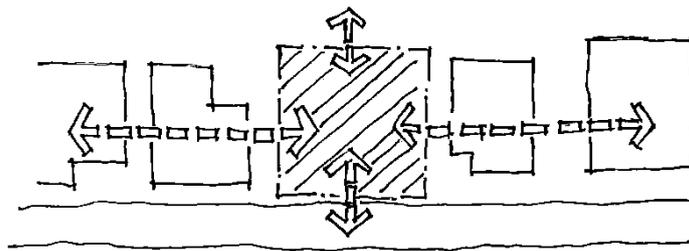
●時間的にとらえる

景観は時間の移り変わりによって、とらえ方や印象は異なります。この時間をとらえる視点としては、時刻（朝、昼、夕、夜）、天候（晴れ、曇り、雨、雪）、季節（春、夏、秋、冬）があります。さらにこれらを含めた長い時間の積み重ねが考えられます。

景観づくりのためには、このような時間的な条件や要因に対応することが必要であり、同時に、長い時間にわたって多くの人目に見られることを考慮して、時間の経過に配慮したデザインを検討しましょう。

景観づくりの取り組み方

敷地に建物が建てられるとき、そこにはある「関係」が生まれます。それは敷地との関係であり、隣りやまちなみとの関係であり、さらにはまち全体との関係です。景観づくりには、この関係を意識し、またその関係に配慮することが重要です。景観づくりが「関係のデザイン」と言われるのはまさにこの点であるといえます。そして、関係に配慮するときには、次の点が求められます。



●調和を図る

建物を建てる時は、その敷地の中のことだけでなく、まわりのまちなみのことやまち全体のことについても意識し、それらとの関係を考えることが必要です。まわりの景観になじませたり、結びつきを強めるなど関係を適切に整えられた建物は、まちの景観の一つの要素としてハーモニーを生み出すことができます。景観づくりは、まさに調和を図ることが大きなポイントです。

●アメニティをつくる

アメニティ (amenity) は、一般に「快適性、快適な環境」として理解されていますが、その本質は、その地域独自の快適さを指しています。つまり景観づくりには、周辺環境との関係に配慮するとともに、春日部らしい、あるいはその地域らしいおいやゆとりなどのアメニティを創出することが求められるといえます。

●ふさわしいデザインを考える

景観づくりに積極的に取り組むとき、その積極的な姿勢を強調するあまりに奇抜なものや過度にデザインされたものが出現し、まちなみ景観としては逆に調和や秩序を混乱させることも考えられます。周辺の環境やまちなみの中でのあり方をよく検討し、その場所にふさわしいデザインを心がけましょう。

2.計画づくりのためのステップ

景観づくりには、まちやまちなみについて考える視点が不可欠です。具体的な設計を行う前に、敷地と敷地の周辺の地域の特徴をつかみ、計画づくりへと結び付けてください。

構成と使い方

大規模な建築物、工作物、広告物などを企画、構想している段階は、景観づくりにおいて非常に大切です。この段階では、春日部市全体の中での景観づくりの考え方や、敷地と周辺の特徴を確認し、どのようなテーマで景観づくりに取り組めばよいかを、次の4つのステップを踏まえながら検討してみましょう。

Step 1 景観づくりを大きくとらえる

春日部市全体がわかる地図を用意して、春日部市の中での敷地の位置を確認してください。



Step 2 まちを調べる

周辺の地図やカメラ、スケッチブックなどを用意して、まちや敷地の周辺を歩いて特徴を確かめてください。



Step 3 景観づくりのテーマを設定する

まちの景観やまちなみをつくるという視点で、建築物などの景観づくりのためのテーマを考えてください。



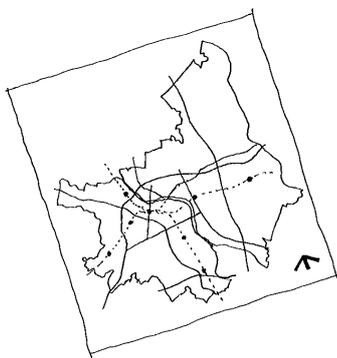
Step 4 よりよい景観づくりに向けて配慮・工夫する

これまでのステップを踏まえ、景観づくりのためのテーマ、方針を「景観形成配慮事項説明書」にまとめ、よりよい景観づくりにつながるよう取り組んでください。

Step 1 景観づくりを大きくとらえる

景観づくりは、敷地の中だけで考えるのではなく、春日部市全体の中での位置を確認することが大切です。まちとのかかわり合いを考えて、大きな視点から景観づくりをとらえてください。

地図をひろげ、春日部市の中での位置を確認しよう



みなさんが計画している大規模建築物等は、まちの景観の重要な要素です。まず大きな地図をひろげて敷地を広域的な視点からとらえ、どのような場所か確認してください。

春日部市の景観形成の基本方針を考慮しよう

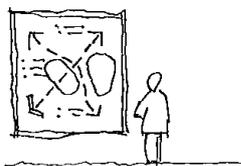
「春日部市景観計画」では、春日部市における景観づくりの基本的な考え方を示しています。計画の際に、まず景観形成の目標、基本方針を考慮してください。



P8、9を参照してください。

ゾーン別景観形成の方針を考慮しよう

春日部市の景観は、特徴を踏まえたゾーンに区分できます。それぞれには方針が定められていますので、敷地がどのゾーンに属するか、あるいはどのゾーンと関連するかを確認し、その方針を考慮してください。



P8、9を参照してください。

春日部市景観計画では、景観形成の目標、基本方針とゾーン別景観形成の方針を、つぎのようにさだめています。

[目標]

しあわせに住まう「緑彩水都」づくり

[基本方針]

- 1) 埼玉県東部の中心都市として魅力と賑わいのある景観形成
- 2) 地域の個性と文化の魅力を享受できる景観形成
- 3) 水と緑と田園を生かし環境に配慮した景観形成
- 4) 民間行政協働により永く市民に親しまれる景観形成

[ゾーン別景観形成の方針]

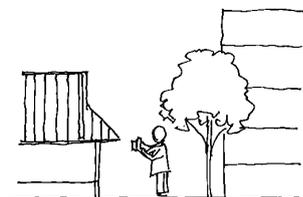
ゾーン名称	景観形成の基本方針	
都心（中心市街地）ゾーン	共通	本市の都心ゾーンとして、魅力的な都市空間の形成に向けた景観づくりを図るため、賑わい景観と高アメニティの持続可能な環境配慮型の都心として、河川やシンボル軸の風の道、水の道と、その沿道の建物における屋上緑化・壁面緑化等の潤い景観を形成する。また、連続立体交差事業と連動した東西駅前公共施設等の景観整備による玄関口景観整備を図ります。
	東口	旧日光街道沿いや古利根川沿いの歴史文化資源を活かし、公共空間の高質化と、建築物や屋外広告物の規制・誘導により、歴史を感じる景観形成を図ります。
	西口	商業業務や行政施設、文化施設等が立地する藤通りに象徴されるシンボル軸やその沿道は、風格と個性を感じる都市景観を形成します。
都心以外の駅周辺ゾーン	各駅の特性に応じた固有の景観形成を地域とともに考え、地域に愛される駅前周辺地区となるよう、駅前の建築物の街並みや屋外広告物等について、地域の生活拠点としてふさわしい景観誘導を図ります。	
大規模公園ゾーン	内牧公園や庄和総合公園、大沼公園、牛島公園をはじめとする大規模公園の周辺には、これら自然と景観に優れた公園のイメージを享受でき、一体的に魅力を形成するゾーンとして周辺公共施設とともに民間建築物等の良好な景観誘導を図ります。	
広域幹線沿道ゾーン	春日部駅から東西に延びるシンボル軸や、国道の広域幹線道路、そして都心環状線などの幹線道路は、車窓からの景観が本市の特徴を表すように、沿道の賑わい景観と周辺の住宅市街地や田園景観と調和するような沿道景観の誘導を図ります。	
大落古利根川沿岸ゾーン	市の中心を流れ市民のシンボリック存在である古利根川は、市民が川沿いを楽しく散歩できる景観上重要な河川として、潤いを感じる親水空間整備や沿岸散策路の整備、魅力的な橋梁改善も河川沿いの建築物等の良好な景観形成を図ります。また、沿岸に立地する古くからの社寺等の歴史景観や、田畑や屋敷林などの自然的景観とのネットワークに配慮した景観形成を図ります。	
住宅市街地景観形成ゾーン	昭和40年代に急速に市街化した基盤の弱い住宅地から、地区計画や建築協定等が締結されている比較的質の高い住宅地、武里団地の大規模団地、近年の中高層マンション等、多様なたたずまいを形成しており、それぞれの特性に応じた心地よい景観を形成します。そのためには、必要に応じて道路や緑地等の公共空間の整備や高質化、沿道や敷地内等の緑化、建築物等のルール化など、地区の魅力を高めるための景観整備・誘導を図ります。	
工業系市街地景観形成ゾーン	豊野工業団地、南栄町工業団地等の基盤が整備されている工業団地では、緩衝緑地を確保した緑豊かな環境が確保されているが、さらに緑、花、工場施設外構・外壁等により質の高い工業系市街地景観として、民間企業との協力の基に周辺境界部の工夫を行います。また、その他の工業系市街地では、住宅地等の周辺環境に配慮して緩衝緑地の整備や敷地内緑化を進めるとともに、工場施設や設備等のデザインの工夫により魅力的な産業景観を創出します。	
産業集積検討ゾーン	国道16号と国道4号バイパスの交差部周辺の市街化調整区域は、新しい産業集積が期待される地区として開発がすすまられています。周辺の農地や既存集落との調和に配慮し、魅力的な公共施設の整備と緑豊かな潤いのある産業集積検討ゾーンとして、新しい本市の魅力景観を創出します。そのため、地区計画等のルールの中に景観に関するルールを盛り込み、良好な産業景観を形成します。	
田園・集落ゾーン	屋敷林を持つ点在する田園集落や歴史的な集落、果樹園や樹林地を背景とした集落など、個性的な田園集落景観を形成しており、これら市街地を取り囲む豊かな田園景観は本市の固有の魅力として、田園や緑地の保全と、それらと調和した集落景観の形成を図ります。また、心地よいフラワロードなどを保全育成していきます。	
伝統的集落形成ゾーン	穀倉地帯である江戸川沿いの中でも、中川と江戸川に挟まれた庄和地域は、水塚や散居集落などの農村風景が残っており、生活や生業と密接に関係して作られた独特の伝統的集落景観として、次世代に継承できるよう景観の保全育成を図る。	

Step 2 まちを調べる

みなさんが計画しようとしている敷地の周りには、どんな自然の要素や歴史・文化、あるいは都市施設がありますか。また、まちにはどんな魅力がありますか。計画を立てる前に、まちを実際に歩いて、これらの要素や雰囲気を感じ、特徴を見つけてください。

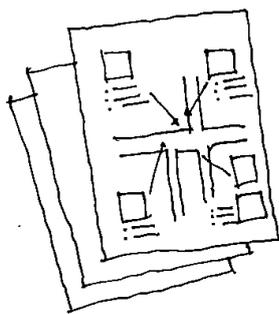
まちの特徴をみつけよう

まちを実際に歩き、写真を撮ったり、スケッチを描いたりしながらまちの特徴や魅力を確かめましょう。



- ・まちの雰囲気、イメージはどうですか？
- ・景観をつくっている主な要素はどのようなものがありますか？
自然的な要素、歴史・文化的な要素、
まちなみや公共施設など
- ・まちの祭やイベントはありますか？

まちから得た情報を整理しよう



まちを歩いて得た情報をまとめましょう。そして、印象に残ったこと、景観として好ましいものや配慮すべき点を整理しましょう。

まちの将来像を把握しよう

まちが将来どのような方向で発展するのか、あるいは敷地周辺の整備動向などを把握しましょう。

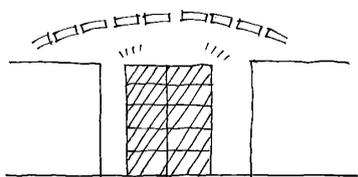


Step 3 景観づくりのテーマを設定する

まちの特徴をつかんだら、その特徴をなるべく活用したり配慮する方向で景観づくりのための全体のテーマを設定しましょう。同時に、まちにゆとりやうるおいを与えるような工夫についても検討して下さい。

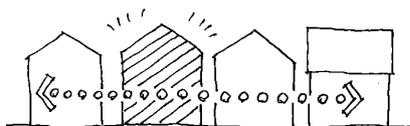
景観づくりのテーマを設定しよう

まちから得た情報を整理し、まちの将来像を把握することによって、景観づくりのテーマを導き出してください。



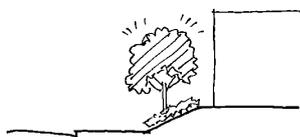
まちなみを意識し、リズムや連続性を持たせよう

敷地の周辺の街並みを意識し、それがつながるような工夫をするなど、積極的にまちなみの景観づくりに取り組んでみましょう。



まちの景観づくりに貢献する工夫をしよう

計画される敷地の周辺からどう見られるかを考えて計画してください。また、小広場をつくったり、緑化を行うことなどによって、ゆとりやうるおいが生まれます。まちなみに魅力を与えるような工夫を積極的に検討してください。



Step 4 よりよい景観づくりに向けて配慮・工夫する

これまでのステップを踏まえ、景観づくりのためのテーマ、方針を「景観形成配慮事項説明書」にまとめ、よりよい景観づくりにつながるよう取り組んでください。

景観形成配慮事項説明書の作成について

景観づくりのためのテーマについて、次の4つの視点から捉え、それぞれの視点から景観づくりに配慮した点、工夫した点などについてまとめてください。

●春日部市全体からの視点

計画している施設が、春日部市内のどこに位置するかを地図上で確認してください。

また、計画地や周辺のまちづくりの動向、事業予定や地区計画なども踏まえて計画・設計を行ってください。

●ゾーン別景観形成の方針からの視点

ゾーン別景観形成の方針（本書 p8、9 参照）の、どのゾーンに位置するかを確認し、ゾーンごとの方針に定めた内容を踏まえて、計画・設計を行ってください。

●周辺環境からの視点

計画している敷地とその周辺がわかる図面を用意し、敷地や周辺の緑、水辺（河川、水路など）、地形の起伏（斜面）、古いみちすじや寺社、歴史的な建造物などを書き込むなど、地域で配慮すべき景観資源等を把握してください。

これらを踏まえつつ、敷地周辺のまちなみや公共施設（道路、公園など）を把握し、周辺からの見え方やまちなみの連続性など配慮する点、工夫する点などを検討してください。

●計画内容に応じた視点

建築物や工作物、開発など計画内容に沿った景観づくりの配慮（本書 p16 以降参照）を参考としつつ、景観づくりのポイント、配慮や工夫する点を検討してください。

景観形成配慮事項説明書

テーマ	景観づくりに配慮した点、工夫した点など
春日部市全体からの視点	<p>○市内での位置を確認し、景観形成の目標や基本方針を考慮して記入してください</p> <p>計画地の場所と周辺の状況を記入しつつ、景観計画に定める目標・基本方針を考慮して景観づくりに向けた考え方等を記入してください。</p>
ゾーン別景観形成の方針からの視点	<p>関連するゾーン：</p> <p>○ゾーン別景観形成の方針を考慮して記入してください</p> <p>ゾーン別景観形成の方針のどのゾーンに該当するか記入し、地域の特性を活かした景観づくりの考え方等を記入してください。</p>
周辺環境からの視点	<p>○周辺地域やまちなみの特徴を踏まえた点について記入してください</p> <p>○周辺の景観資源（歴史的環境、緑、水辺など）や周辺からの見え方などを考慮して記入してください</p> <p>周辺地域のまちなみ、自然環境などの特徴を簡潔に記入してください。計画地や周辺で配慮すべき景観資源の状況について記入するとともに、地域の景観づくりのための考え方等を記入してください。</p>
計画内容に応じた視点	<p>○施設別の配慮事項やチェックポイントなどを参考に記入してください</p> <p>計画している内容について簡潔に記入した上で、敷地の計画や建築物や工作物等の配置や形態意匠、色彩など配慮事項や工夫する点などを記入してください。</p>

3.まちに魅力を与えるデザイン

設定された景観づくりのテーマに基づいて、具体的に計画・設計しようとするとき、まちなみに配慮して魅力を与えるデザインを検討してください。

構成と使い方

次の手順を踏まえながら、計画している施設の内容に合わせてお使いください。

施設別の景観づくりの配慮事項

P. 16

敷地の計画

P. 22

敷地の計画

大規模な建築物など

P. 22

大規模な開発、物件の堆積など

P. 24

要素のデザイン

P. 26

建築物のデザイン

P. 26

工作物のデザイン

P. 36

広告物のデザイン

P. 40

色彩のデザイン

P. 42

外部空間のデザイン

P. 44

スペースのデザイン

P. 44

境界のデザイン

P. 48

緑のデザイン

P. 52

外部空間の演出

P. 54

維持管理の計画

P. 56

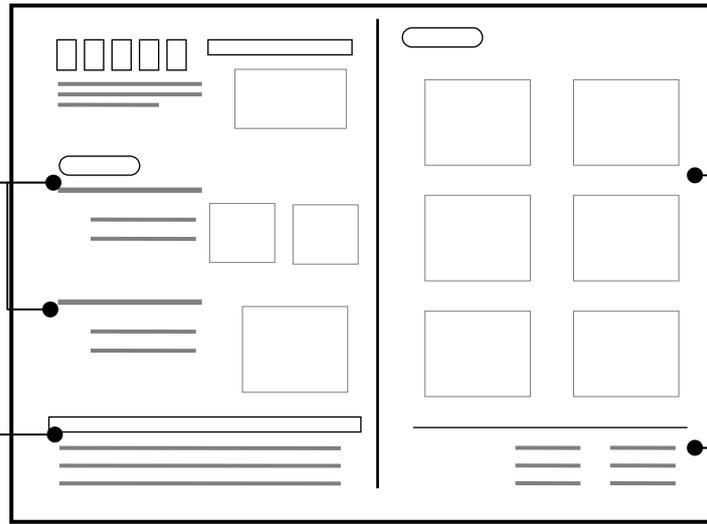
維持管理の計画

P. 56

<項目別の構成>

景観づくりのガイド
魅力ある景観づくりのための2つのテーマと手法を整理しています。

チェックポイント
景観づくりのために配慮していただく内容をまとめています。



景観づくりのアイデア
「景観づくりのガイド」に対応した事例やその他のアイデアなどをまとめています。

事例の場所をまとめています。

大規模な建築物を計画しているとき 大規模な工作物を計画しているとき 大規模な広告物を計画しているとき 大規模な開発事業を計画しているとき 大規模な物件の堆積を計画しているとき

	●		●		○		○		○
	○		○		○		●		●
	●		○		○		●		●
	○		●		○		○		○
	○		○		●		○		○
	●		●		●		○		○
	●		●		○		●		●
	●		●		○		●		●
	●		●		●		●		●
	●		●		●		●		●
	●		●		●		●		●

●……必要となるガイドライン
○……内容に応じて選択するガイドライン

施設別の景観づくりの配慮事項

みなさんが計画しているものは、住居系、商業・業務系、沿道利用系、工業系のどの施設ですか。あるいはどのような施設と関連していますか。具体的な計画・設計のまえに、施設の内容や性格、周辺環境とのかかわりを踏まえ、景観づくりのためのポイント、配慮点を確認してください。

住居系施設

●生活の場にふさわしい落ち着いた景観づくりに取り組もう

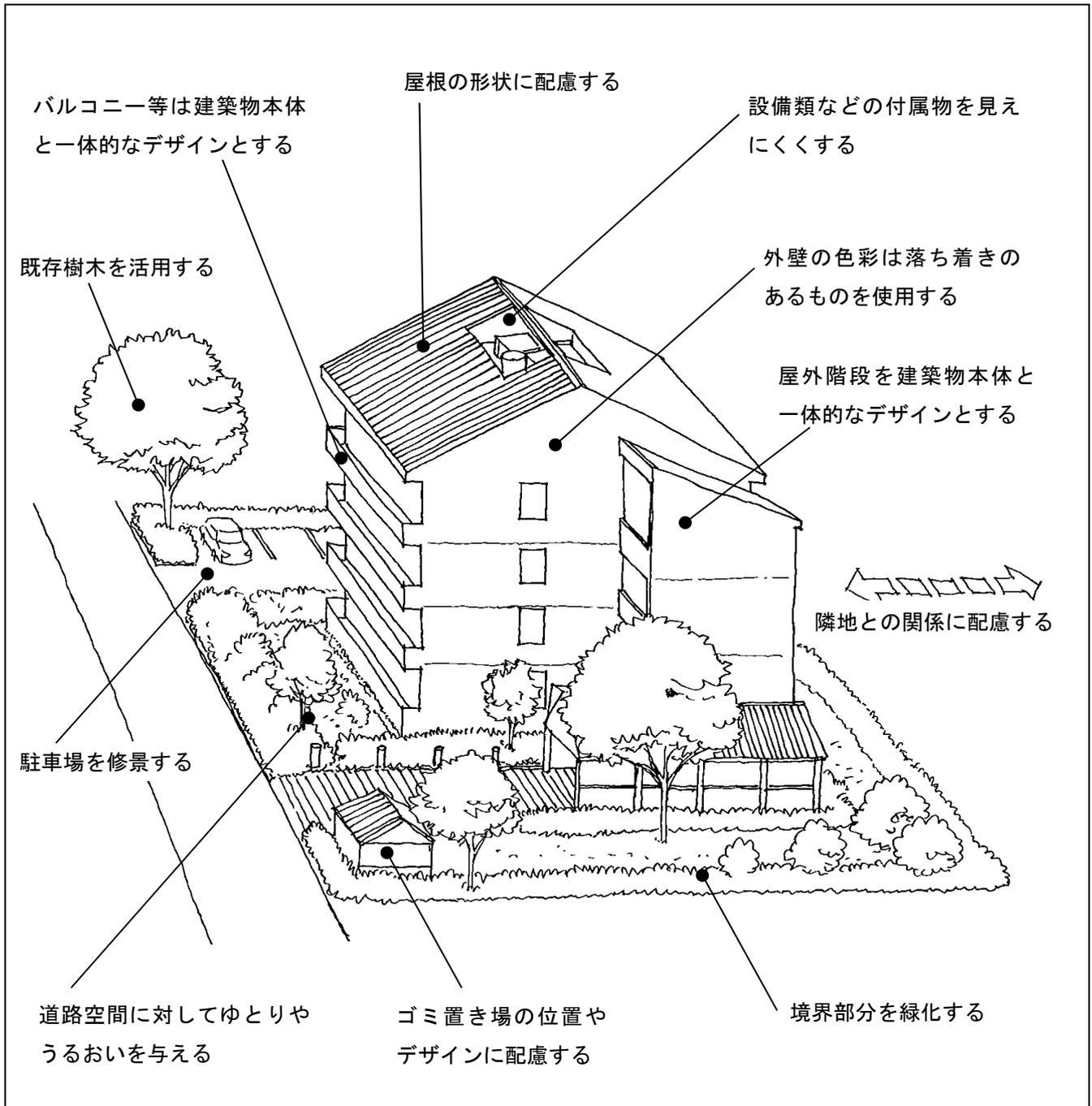
住居系施設の場合、まずそこが生活を営む場であることを考慮しましょう。そのため、過度な表現のものや、自己主張の強いものではなく、まちなみに落ち着きを与えるデザインが求められます。さらに、まちなみにつながりや景観的な特徴がある場合には、それらを景観づくりのために活用し、道路や隣地との関係にも配慮しましょう。

デザインの基本的考え方

- ・中高層住宅は、周辺からの高さの突出感を軽減するような高さとし、また大規模施設は壁面の分節化や分棟化などによる工夫を行うものとします。
- ・本市の大きな特徴である戸建て住宅のまちなみを、より魅力的にしていけるために、まちなみとして一体的な意識を高め、調和のある住宅地景観を形成します。
- ・個性的な集落景観を保全・活用し、田園と調和した建築物や外構デザインとするものとします。

配慮点

- ・周辺地域のイメージや土地利用の方向性を把握し、配置やデザインを検討する。
- ・敷地の景観的な特徴を保全・活用する。(地形や緑など)
- ・周辺環境やまちなみの中での調和やつながりを意識する。
- ・隣地との関係に配慮する。(圧迫感、プライバシーなど)
- ・道路空間との関係に配慮し、ゆとりやうるおいを与える工夫をする。
- ・外壁の色彩は、穏やかな色彩を基本に、暖色系色相の中・低彩度色を中心とした色彩を用いる。
- ・屋外階段、バルコニー、設備類などは建築物との調和に配慮する。
- ・住居地域にふさわしい屋根の形状に配慮する。
- ・駐車場、ごみ置き場などは、周辺環境との調和に配慮する。
- ・敷地の境界部分は緑化を行い、周辺に潤いと魅力を与える工夫をする。



* これらの配慮点を確認したうえで、それぞれの詳しい内容については 22 ページ以降を参照してください

商業・業務系施設

●地域環境にふさわしい表情のある景観づくりに取り組もう

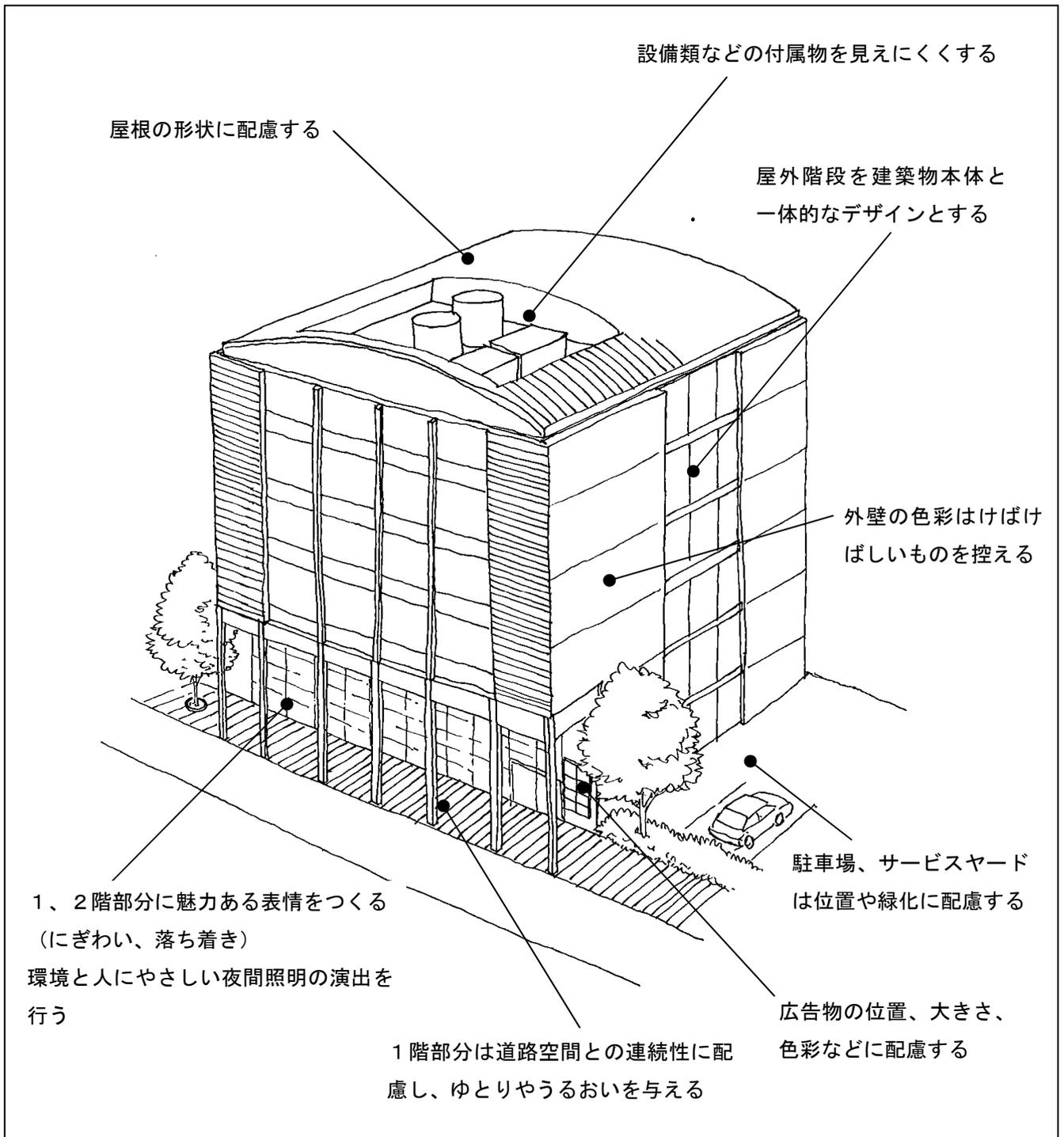
風格や賑わいなど、地域環境にふさわしい表情を持たせることを検討しましょう。特に、1，2階部分は、歩行者の目につきやすいため、ゆとりを与えたり、道路空間との連続性や魅力ある表情を与える工夫をしましょう。

デザインの基本的考え方

- ・通り沿いのまちなみに配慮し、建物高さや低層部のしつらえ、外壁の色彩、広告物の整序化など、賑わいと風格のある景観を形成します。
- ・暮らしの中心となる駅前など、より魅力的な景観となるよう、地域特性に応じた建築物やオープンスペースのデザインとするものとします。

配慮点

- ・周辺地域のイメージや土地利用の方向性を把握し、配置やデザインを検討する。
- ・まちなみのつながりを意識し、周辺環境にふさわしい表情づくりを検討する。
- ・1，2階部分は、歩行者を意識し、魅力を与える演出を行う。
特に1階部分は、道路空間との連続性に配慮し、ゆとりやうるおいを与える工夫を行う。
- ・広告物や外壁の色彩は、周囲と色相をそろえることや、明度や彩度に共通性をもたせる等の工夫により、まちなみの連続性に配慮する。
- ・屋外階段や設備類などは建築物との調和に配慮する。
- ・屋根の形状に配慮し、スカイラインを整える。
- ・駐車場、ごみ置き場、物品置き場、自動販売機などは周辺環境との調和に配慮する。
- ・ライトアップやイルミネーションなどの演出や、光を当てる対象の違いや季節の変化に応じた光源の色温度を工夫する。
- ・過剰にならないようまぶしさ（グレア）、光の広がり具合（光束比）等に配慮した照明デザインとする。



*これらの配慮点を確認したうえで、それぞれの詳しい内容については22ページ以降を参照してください

沿道利用系施設

●地域環境に配慮した景観づくりに取り組もう

幹線道路などは都市の軸線となり、本市のイメージにもつながります。広告物等を目立たせるのではなく、潤いや心地よさをもたらす豊かな緑景観の創出や、地域性を表す景観づくりを積極的に努めましょう。

デザインの基本的考え方

- ・ロードサイドを全国画一的な景観とならない、地域性に配慮した賑わいのある景観となるよう、周辺の住まい環境にも配慮したロードサイド景観を創出します。

配慮点

- ・周辺地域のイメージや土地利用の方向性を把握し、配置やデザインを検討する。
- ・まちなみの連続性を意識し、周辺環境にふさわしい表情づくりを検討する。
- ・広告物や外壁の色彩は、周囲と色相をそろえることや、明度や彩度に共通性をもたせる等の工夫により、まちなみの連続性に配慮する。
- ・屋外階段や設備類などは建築物との調和に配慮する。
- ・駐車場、ゴミ置き場、物品置き場、作業スペースなどは植栽等による修景緑化を行うなど、周辺環境との調和に配慮する。
- ・施設の周辺や敷地の境界部分は緑化を行い、周辺に潤いと魅力を与える工夫をする。

工業系施設

●うるおいと親しみのある景観づくりに取り組もう

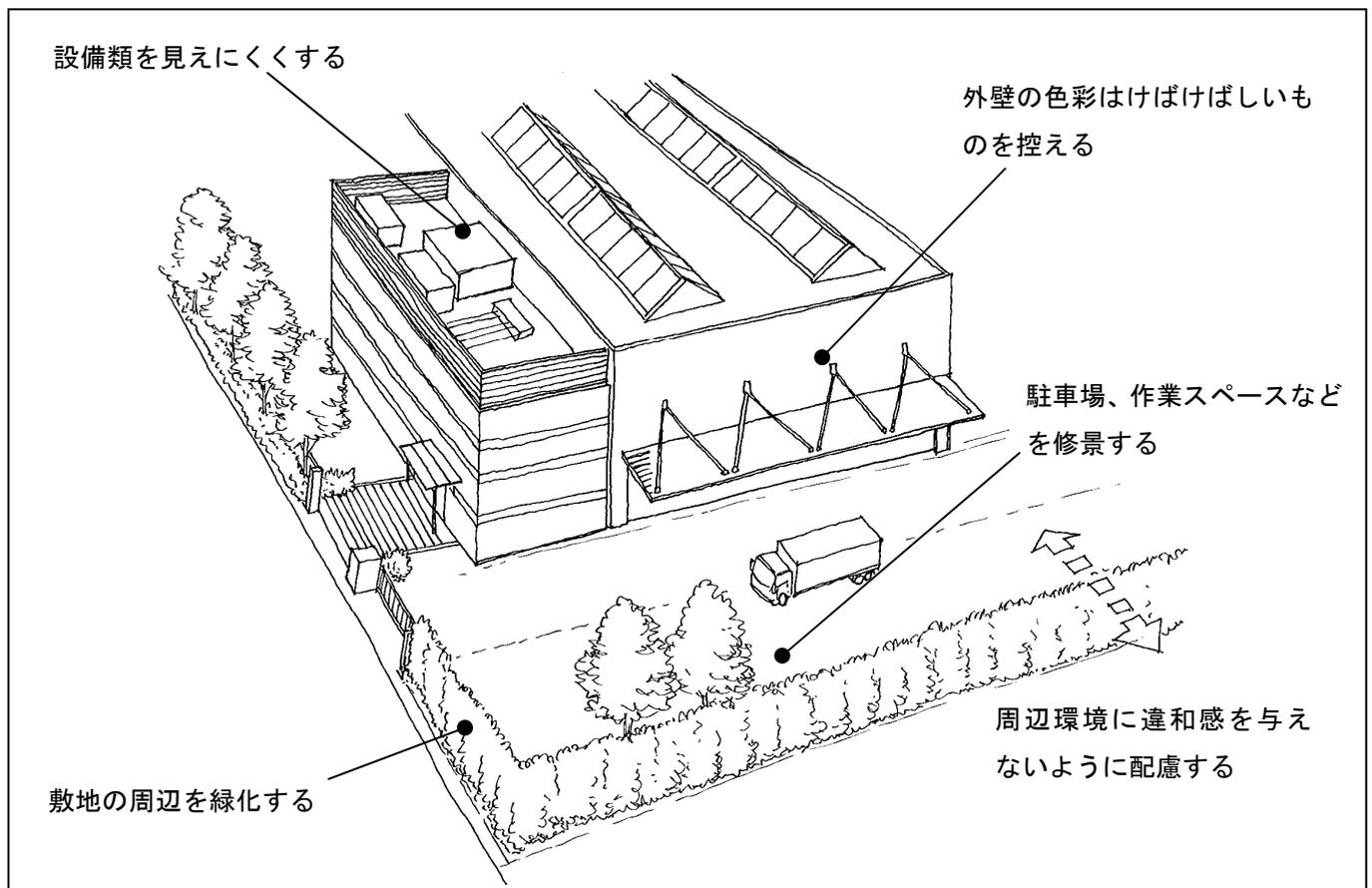
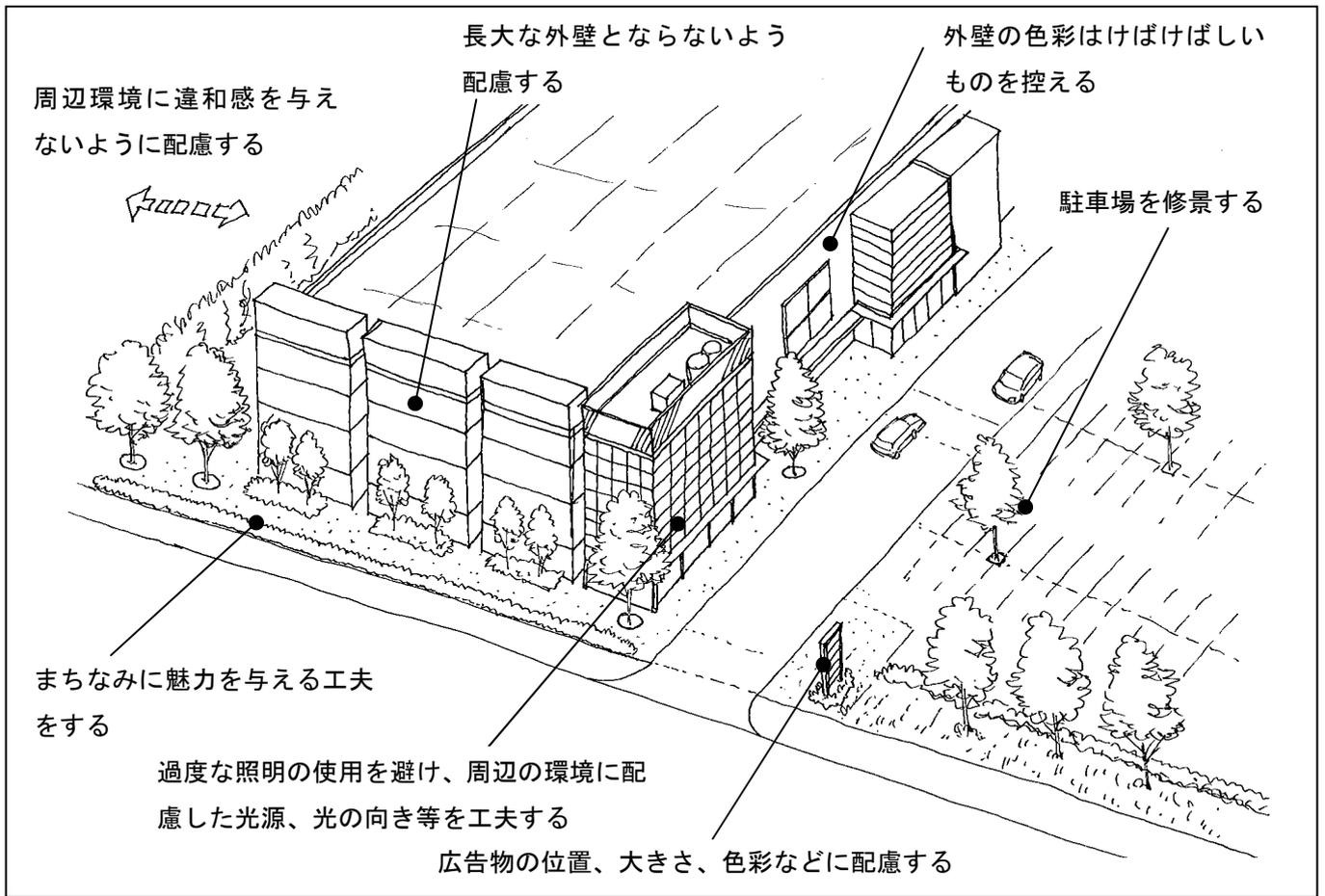
工業系施設は、とかく冷たく煩雑とした印象を与えがちですが、まちの景観をつくる要素としてとらえ、可能な限り周辺環境との調和をはかるよう積極的に努めましょう。

デザインの基本的考え方

- ・緑を効果的に活用し、建築物や外構等のデザインを工夫して、周辺の住宅地等に配慮した魅力的な産業景観を形成します。

配慮点

- ・周辺地域のイメージや土地利用の方向性を把握し、配置やデザインを検討する。
- ・各施設は、周辺に違和感を与えないように整える。
- ・広告物や外壁の色彩は、周囲と色相をそろえることや、明度や彩度に共通性をもたせる等の工夫により、まちなみの連続性に配慮する。
- ・屋外階段や設備類などは建築物との調和に配慮する。
- ・駐車場、ゴミ置き場、物品置き場、作業スペースなどは植栽等による修景緑化を行うなど、周辺環境との調和に配慮する。
- ・施設の周辺や敷地の境界部分は緑化を行い、特に高木の導入など、通りなどから緑として見える範囲を大きくするなど、周辺に潤いと魅力を与える工夫をする。

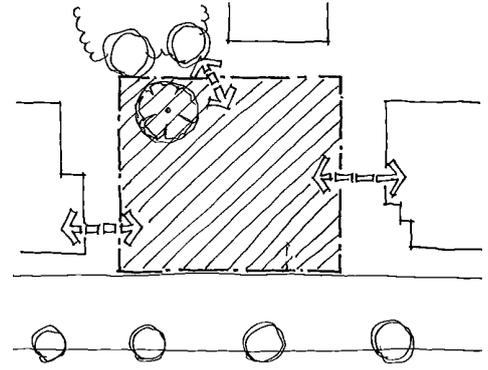


* これらの配慮点を確認したうえで、それぞれの詳しい内容については22ページ以降を参照してください

敷地の計画

—1.大規模な建築物など

大規模な建築物や工作物は、景観形成に非常に大きな役割を果たします。敷地を計画する段階から周辺との関わりの中で空間の構成を考えて配置を検討しましょう。



○景観づくりのガイド

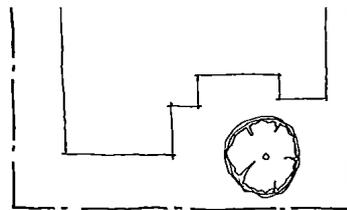
まちや敷地の特性を活用しよう

まちや敷地の条件を十分に調査して、なるべくその特性の活用を検討しましょう。

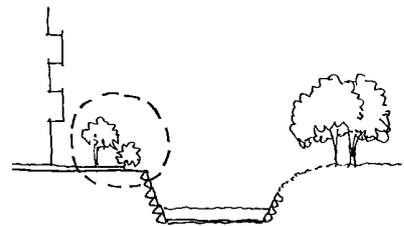
- ・ 立地条件、敷地条件を活用する
- ・ 周辺の景観的な資源を活用する 一緑、水辺、歴史資源など



敷地の形状を活用する



既存樹木を保存活用する

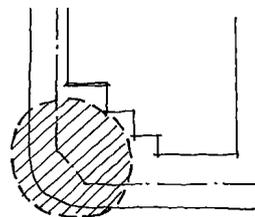


水辺の景観を活用する

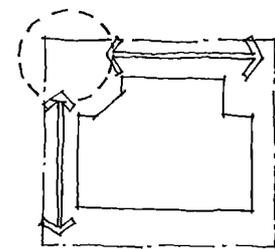
ゆとりやうるおいを与える工夫をしよう

敷地と建築物を一体的に検討し、建築物の配置やオープンスペースの確保など、全体の空間構成を考えましょう。

- ・ 周辺からの見え方を考えて配置を検討する
- ・ オープンスペースを確保する
- ・ 歩行者動線を引き込む



まちかどにオープンスペースを確保する



歩行者動線を引き込む

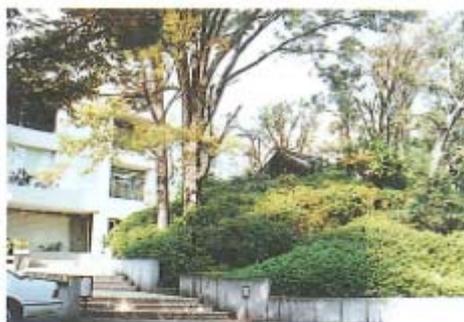
チェックポイント

- 敷地と建築物を一体的に計画し、小広場などのオープンスペースの確保に努めていますか？
- 周辺環境や敷地の特徴を把握し、それを活用していますか？
- 立地条件や周辺からの見え方を考えて配置を検討していますか？

○景観づくりのアイデア



▲既存の樹木を活用して、取り囲むように建築物を配置している



▲歴史的な資源を保全して、落ち着いたある景観をつくり出している



▲橋に隣接した敷地の特性を活かし、橋詰広場となるオープンスペースを確保している



▲公園のような公開空地によって、マンションのイメージを高めている



▲敷地を歩行者スペースとして提供し、周辺の歩行者空間のネットワークを形成している



▲敷地を緑豊かな歩行者スペースとして提供している

●世田谷区 世田谷美術館

●中央区

●横浜市 関内ホール

●渋谷区

●川崎市 新百合ヶ丘

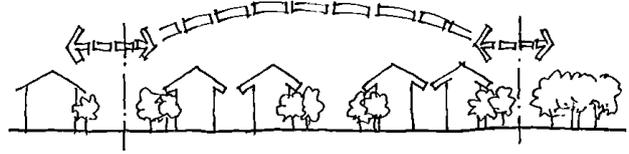
●大阪市

敷地の計画

—2.大規模な開発、物件の堆積など

住宅団地や工業団地などの敷地の規模が大きく、複数の建築物を検討している計画は、調和とまとまりのある景観づくりに積極的に取り組みましょう。

また、屋外で行う物件の堆積について、周囲から目立たないように配慮しましょう。

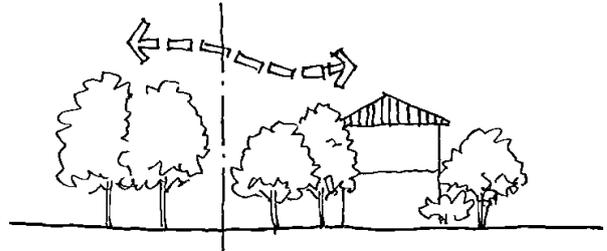


○景観づくりのガイド

周辺環境と調和させよう

まちの現状や将来像と敷地の条件を十分に調査、考慮して、周辺の地域になじむよう努めましょう。

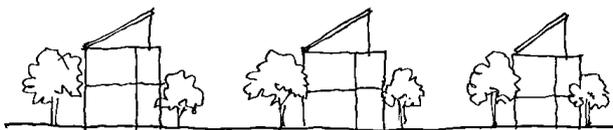
- ・ 地形の連続性が失われないように配慮する
- ・ 周辺地域と連続した緑の景観づくりを検討する
- ・ 周辺環境に配慮して建築物の配置を検討する
- ・ 修景された緩衝帯を設置する



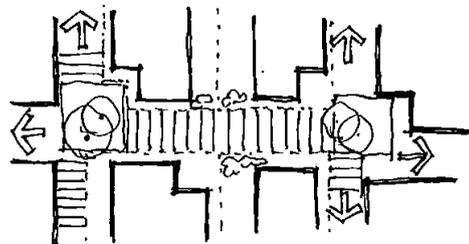
まとまりとuringおいのある景観づくりに取り組もう

敷地全体の空間構成を検討し、計画の内容に応じてすべての要素をコーディネートしましょう。

- ・ 地形の起伏や既存樹木を活用する
- ・ 建築物のデザイン（形態、色彩、材質など）に配慮する 一統一、変化、リズムなど
- ・ 歩行スペースやオープンスペースを確保し、ネットワークをつくる
- ・ 緑や水辺の空間をつくる



まとまりのある建築デザインを検討する



歩行者スペースのネットワークをつくる

チェックポイント

- 周辺地域を十分に調査し、周辺と調和する景観づくりに取り組んでいますか？
- 敷地の特徴を把握し、それを活用していますか？
- まとまりと調和のある建築物のデザインを検討していますか？

○景観づくりのアイデア



▲屋根の勾配や色彩などに配慮された建築物と敷地内を縦貫する歩車共存道路とが一体化されており、地区の景観に調和を与えている



▲建築物のデザインや外構部に配慮し、まとまりのある緑豊かな景観をつくり出している



▲敷地の中に緑豊かな歩行者スペースのネットワークをつくり、地区の景観にゆとりとうるおいを与えている



▲敷地の中にゆったりとしたオープンスペースを確保し、いこいの場をつくり出している



▲面的な開発に際して敷地内にショッピングモールが整備され、にぎわい感を演出している



▲工場内に広大な緑や水辺の空間を確保することによってうるおいを与えている

●多摩ニュータウン

●首都大学東京

●横浜市 鶴見

●川崎市 新百合ヶ丘

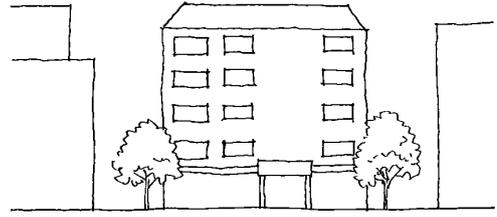
●千葉ニュータウン

●横浜市

建築物のデザイン

—1.規模・形態

大規模な建築物は、とかく周囲に威圧感や圧迫感を与えがちです。敷地と周辺環境を十分に調査し、好ましい規模や形態を検討しましょう。

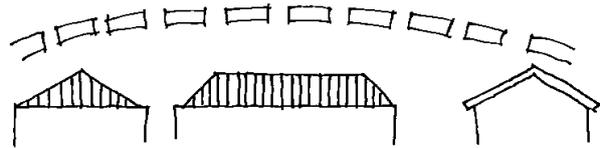


○景観づくりのガイド

周辺環境と調和させよう

周辺環境の中で景観づくりのために尊重すべき要素を見つけ、それらと調和するよう努めましょう。

- ・ 周辺環境と調和する建築物の規模、形態を検討する
- ・ 周辺環境と調和する屋根の形態を検討する
- ・ 周辺環境と調和するスカイライン（屋根と空を区切る輪郭線）を検討する

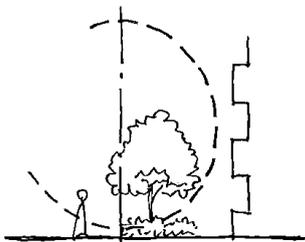


屋根の形態を調和させる

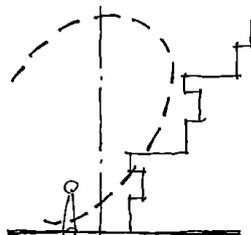
圧迫感をおさえる工夫をしよう

壁面の位置の工夫によって、圧迫感をおさえたり、壁面に変化やゆとりを与えることができます。とくに市街地の建て込んだ所では、このような配置が必要です。

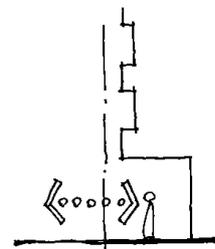
- ・ 壁面を後退して、圧迫感をおさえ、ゆとりを生み出す
- ・ 壁面を分節、分割して、スケール感の調整をはかる
- ・ 1階部分に歩行者スペースを取り込む



壁面を後退する



壁面を分割する



1階部分に歩行者スペースを確保する

チェックポイント

- 建築物の規模、形態、屋根の形状などを周辺環境に調和させていますか？
- 壁面の位置の工夫によって圧迫感をおさえるよう努めていますか？

○景観づくりのアイデア



▲周辺の緑に調和するように、規模、形態、材料の選択などが配慮されている



▲周辺の歴史的な環境に調和するように、屋根の形態、デザインなどが配慮されている



▲壁面を後退し植栽を施すことによって圧迫感をやわらげゆとりを与えている



▲低層棟の壁面を分節することによって、高層棟の威圧感をおさえ、親しみを与えている



▲壁面を分節することによって圧迫感をやわらげたり変化のある表情をつくり出している



▲1階部分を壁面後退することによって歩行者スペースを確保し、空間に広がりを与えている

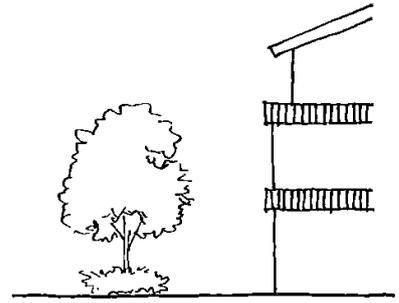
- 世田谷区 九品仏地区会館
- 神戸市 北野
- 川崎市 新百合ヶ丘

- 角館町 角館郵便局
- 世田谷区 世田谷ビジネススクエア
- 京都市

建築物のデザイン

—2.外壁・ファサード※

建築物の外壁・ファサードは、多くの人々の目に触れるとともに、景観形成に大きくかかわります。周辺のまちなみに誇れるデザインでまちなみの魅力づくりに参加してください。

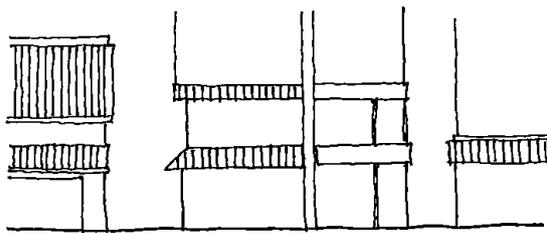


○景観づくりのガイド

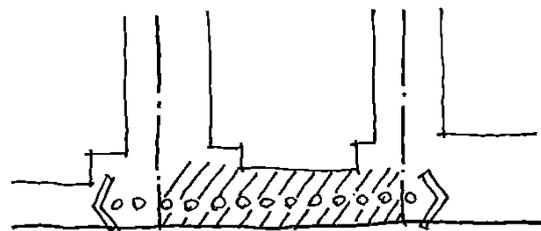
連続性を与える工夫をしよう

周辺のまちなみの用途やデザイン、あるいは緑に配慮し、まちなみに連続性やリズム感を与えることを検討しましょう。

- ・ 周辺環境に配慮した用途、デザインを検討する — 色彩、材質など
- ・ 周辺環境に配慮した軒の高さやデザインを検討する
- ・ 連続した小広場を確保する



ファサードの軒の高さやデザインをあわせる

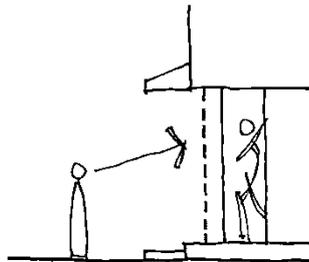


連続したオープンスペースを確保する

魅力を与える表情をつくろう

とくに商業・業務地区では、1、2階部分のデザインがまちなみに表情を与えるポイントです。

- ・ 1、2階部分のデザインによって演出する — ショーウィンドウなど
- ・ 壁面の構成に変化を与え、表情をつくる
- ・ 夜間における表情をつくる — シースルーシャッター、ライトアップなど



ショーウィンドウとシースルーシャッターで夜間のまちなみを演出する

チェックポイント

- まちなみに連続性を与える工夫をしていますか？
- 1、2階部分の用途やデザインに連続性や表情を与える工夫をしていますか？
- 夜間における表情づくりを検討していますか？

○景観づくりのアイデア



▲マンションの1階部分の軒を設け、まちなみに連続性と陰影と奥行きのある表情をつくり出している



▲隣接する建築物と壁面後退部をそろえて、連続した歩行者スペースを確保している



▲落ち着いた外壁によってショーウィンドウや広告物が引き立ち、魅力的な表情をつくり出している



▲1、2階部分にガラス面を大きくとり、まちなみににぎわい感のある表情をつくり出している



▲1、2階部分の壁面に変化をつけたり、歩行者動線を引き込むことなどによって、まちなみに魅力を与える工夫をしている



▲1階部分をギャラリーとし、道行く人々の目を楽しませている

- 長野市
- 中央区
- 世田谷区

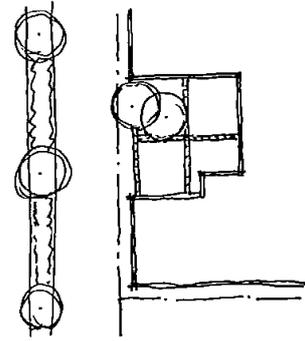
- 横浜市 馬車道
- 中央区
- 新宿区

建築物のデザイン

—3.アプローチ・エントランス※

アプローチやエントランスは建築物を印象づける顔ともいえる部分です。積極的にまちとのつながりを考え、できる限りゆとりを提供しましょう。

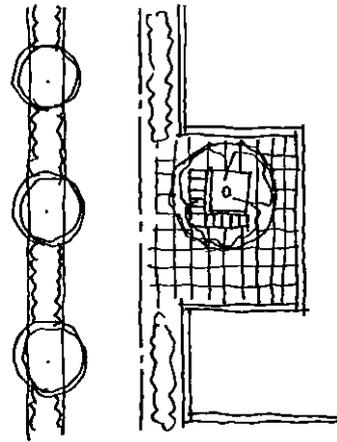
○景観づくりのガイド



ゆとりを与える工夫をしよう

道路空間と連続した歩行者スペースを確保することによって、まちなみにゆとりが生まれます。

- ・ 前面などに広場を確保し、広がりをつくる
- ・ 周辺道路と一体的に整備し、連続性を与える
- ・ 緑や舗装などによって修景する

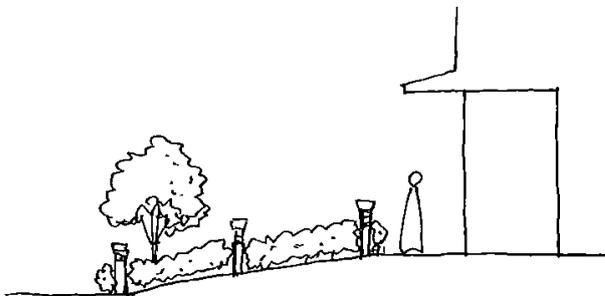


前面に広場を確保し一体的に整備する

わかりやすさ、親しみやすさに配慮しよう

エントランスへの誘導を明記したり、親しみやすいデザインを検討してみましょう。また、高齢者や障がい者に配慮したやさしいデザインも求められます。

- ・ 誘導サイン、案内板を設置する
- ・ シンボリックな演出をする —ゲート、シンボルツリーなど
- ・ 路面の段差をなくしたり、スロープを設置する



案内板やスロープによってわかりやすさややさしさに配慮する

チェックポイント

- 歩行者スペースを確保してゆとりをつくり出していますか？
- エントランスへの誘導や施設の内容などがわかりやすいデザインの配慮をしていますか？
- 高齢者や障がい者に対して配慮をしていますか？

○景観づくりのアイデア



▲エントランス部分に小さな広場を確保し、ゆとりを与えている



▲前面に歩道と連続した広場を確保し、空間に広がりゆとりを与えている



▲エントランス部分にフラワーポットと小さなゲートを設置し、アクセントを与えている



▲前面に広場を確保し、狭い歩道に対してゆとりを与えている



▲歩道とエントランス部分を一体的に整備し、空間に連続性を与えている



▲歩道とエントランス部分の段差を歩道と一体化したスロープでつなぎ、連続性を与えるとともに、高齢者などにも配慮している

- 春日部市 豊春地区公民館
- 千葉ニュータウン
- 港区 麻布地区総合支所

- 横浜市 神奈川地区センター
- 武蔵野市
- 藤沢市 総合市民図書館

建築物のデザイン

—4.屋外階段・バルコニーなど

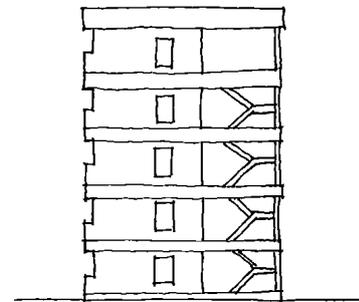
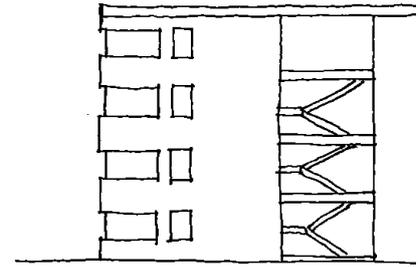
バルコニー、ベランダや屋外階段は、建築物の外観の表情に大きく関わっています。機能的な面だけではなく、建築物のデザインとして扱い、まちなみとの調和をはかりましょう。

○景観づくりのガイド

建築物と調和させよう

建築物と一体的にデザインすることを心がけ、調和をはかるよう努めましょう。

- ・ 建築物と一体的にデザインする
- ・ 建築物と色彩や材質をあわせる
- ・ 質の高いデザインによってアクセントを与える

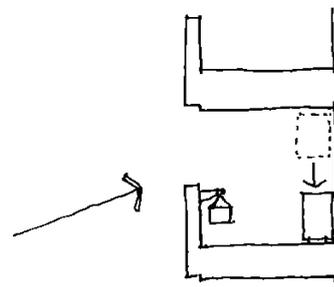


バルコニー、屋外階段を一体的にデザインする

周辺からの見え方に配慮しよう

周辺からの見え方を意識して、デザインを検討してください。とくにバルコニーは、洗濯物や室外機などを目立たせない工夫をしましょう。

- ・ 手すりの色彩や材質に配慮し、目立たせない工夫をする
- ・ 物干金具や室外機などの設置位置に配慮する
- ・ パネル、ルーバーなどで目立たせない工夫をする
- ・ 花（プランターなど）で飾る



バルコニーの洗濯物や室外機を隠す

チェックポイント

- 建築物と一体的にデザインしていますか？
- 色彩や材質などに配慮して、建築物との調和に努めていますか？
- 周辺からの見え方を意識して、目立たせない工夫をしていますか？

○景観づくりのアイデア



▲バルコニーが建築物本体と一体的にデザインされている。また、バルコニーの手すりの色彩がアクセントを与えている



▲バルコニーが建築物本体と一体的にデザインされている。また室外機など外から見えにくい工夫をしている



▲屋外階段を建築物本体と材質を統一することにより調和をはかっている



▲バルコニーの手すりに半透明板を使用し、周辺からの見え方に配慮している



▲屋外階段が建築物本体と一体的にデザインされている。また、通りに対して壁を設け、直接見えにくい工夫をしている



▲屋外階段を建築物と一体的にデザインしている

- 千葉ニュータウン
- 川崎市 新百合ヶ丘
- 渋谷区

- 川崎市 新百合ヶ丘
- 春日部市
- 新宿区

建築物のデザイン

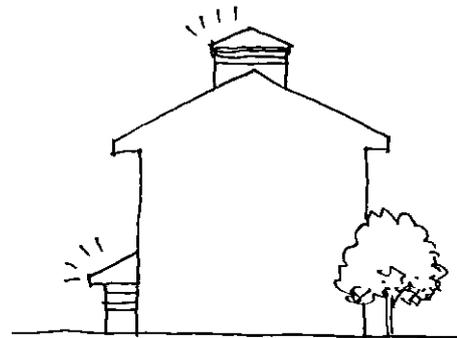
建築物に付属する設備類や配管類は、景観の阻害要因となりやすいものです。快適な景観づくりのためには、これらの要素をまちなみに配慮して整えることが重要です。

○景観づくりのガイド

建築物と調和させよう

付属物も建築物もデザインの一部として扱い、あらかじめ配置や大きさなどについて検討し、建築物と調和させましょう。

- ・ 建築物と一体的にデザインする
- ・ 建築物と調和する色彩や材質などを検討する
- ・ 建築物と共通のデザインを盛り込む
- ・ 質の高いデザインによってアクセントを与える

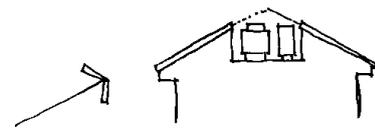


建築物とデザインをあわせる

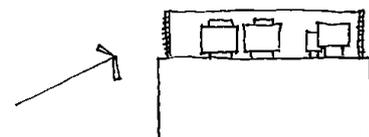
周辺から見えにくい工夫をしよう

周辺からの見え方を意識して、見えにくい、あるいは目立たせない工夫をしましょう。

- ・ 周辺から見えにくい配置の工夫をする
- ・ 屋根と一体的にデザインする
- ・ 屋上の側壁を高くすることによって隠す
- ・ パネル、ルーバーなどによって隠す



屋根と一体的にデザインする



ルーバーによって隠す

チェックポイント

- 配置や色彩などに配慮して、建築物との調和に努めていますか？
- 周辺から見えにくい工夫をしていますか？

○景観づくりのアイデア



▲室外機を建築物本体に取り込み、ルーバーで覆うことによって目立たせない工夫をしている



▲機械室を建築物本体と形態や材料をあわせることによって調和をはかっている



▲屋上設備をルーバーなどで覆い、目立たせないように工夫している



◀樋やダクトを外壁の内側に納め、周辺から見えない工夫をしている



▲外壁と連続した壁を屋上に設け、設備類を隠してすっきりとさせている



▲設備類を隠すだけでなくアクセントを与えるように建築物と一体的にデザインしている

- 川崎市 新百合ヶ丘
- 川崎市 麻生文化センター
- 新宿区

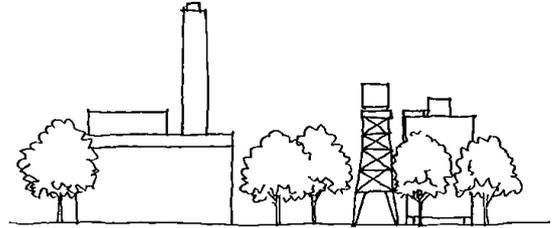
- 我孫子市 鳥の博物館
- 足立区 まちづくり工房館
- 春日部市 中央公民館

工作物のデザイン

—1.煙突・塔・高架水槽など

煙突、装飾塔、ガスタンクなどの大規模な工作物は、都市景観に非常に大きな影響を与えます。周辺への違和感を最小限におさえるように形態や色彩には十分配慮しましょう。

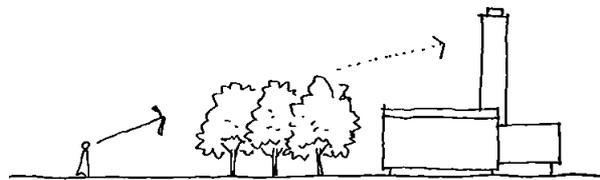
○景観づくりのガイド



調和や親しみやすさに配慮しよう

法令などで定められている場合を除いて、形態や色彩の工夫によって周辺環境になじませることが必要です。

- ・ 形態をすっきりさせる
- ・ 落ち着いたある色彩などで周辺環境と調和させる
- ・ 表面を覆う素材を検討して周辺環境との調和をはかる
- ・ アクセントを与える要素として質の高いデザインを検討する

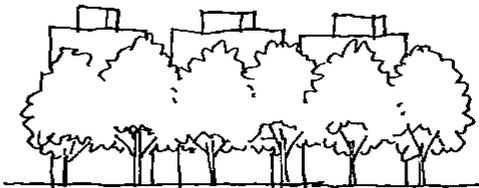


遠景を意識して調和させる

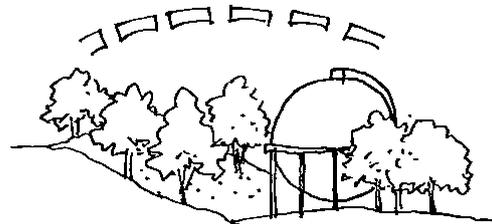
周辺を整えよう

周辺環境との違和感をおさえるために、工作物の周囲のスペースを修景しましょう。

- ・ 周辺を高木などによって緑化する
- ・ 修景された緩衝帯を設置する



周辺を緑化する



緩衝緑地を設置する

チェックポイント

- 周辺からどのように見えるかを検討していますか？
- 素材の選択や色彩の配慮をしていますか？
- 周辺環境との違和感をおさえるように緑化などの工夫をしていますか？

○景観づくりのアイデア



▲煙突をまちのランドマーク（目印）としてとらえ、周辺環境に調和する色彩のデザインによって親しみやすさに配慮している



▲色彩のデザインに配慮してすっきりした印象を与えている



▲ゴルフ練習場のネットの色彩に配慮することによって周辺への違和感をやわらげている



◀公園内に設けられたまちのシンボルとしての展望塔。色彩は周辺の緑と調和するよう配慮されている



▲換気塔を覆う素材に配慮し、違和感をやわらげシンボリックな要素として活用されている



▲タンクの周りに緑のオープンスペースを確保することによってやさしい表情をつくり出している

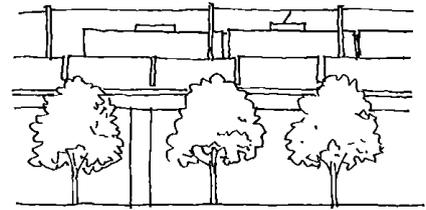
- 世田谷区 世田谷清掃工場
- 世田谷区
- 横浜市 横浜駅前

- 春日部市 クリーンセンター
- 多摩ニュータウン
- 横浜市

工作物のデザイン

—2.高架道路・高架鉄道

高架道路、高架鉄道や横断歩道橋などの上空を横断する構造物は、その存在だけでまちを分断したり、圧迫感を与える要素となってしまいます。周辺環境に十分配慮して、まちの景観づくりのために工夫しましょう。

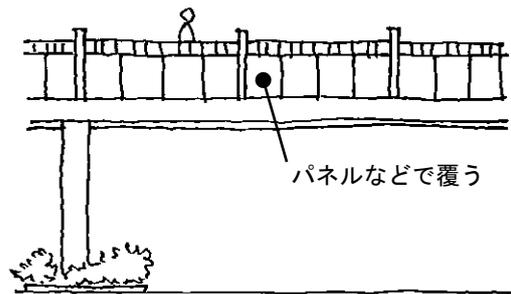


○景観づくりのガイド

圧迫感をおさえる工夫をしよう

橋脚や桁のデザインの工夫によって、圧迫感を軽減することができます。

- ・ 橋脚や桁をすっきりとさせる
- ・ 橋脚や桁の積極的なデザインを検討する
- ・ 橋脚や桁の仕上げや表面を覆う素材を考える — 緑（ツタなど）、パネル、タイルなど
- ・ 橋脚や桁の色彩を周辺に配慮したものとする

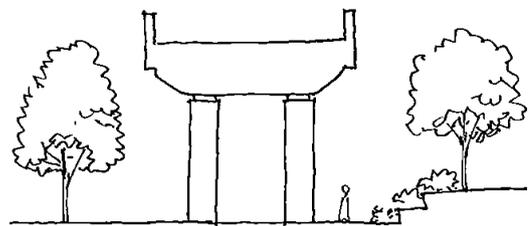


すっきりとした軽快な形態とする

周辺を整えよう

横断する構造物は“屋根のある広場”と考えることもできます。スペースを有効に活用して、うるおいを与えることも検討しましょう。

- ・ 橋桁の下の空間を利用する — 広場、駐車場など
- ・ 周辺を高木などによって緑化する
- ・ 修景された緩衝帯を設置する



橋桁の下の空間を広場とする

チェックポイント

- 橋脚や桁の形態や色彩に配慮し、圧迫感をおさえるよう努めていますか？
- 橋桁の下の空間を活用するなど周辺を集計し、うるおいを与えるよう努めていますか？

○景観づくりのアイデア



▲桁の縁の部分进行細かく分節し、脚部のデザインにも配慮することによって軽快なイメージを与えている



▲桁の裏の部分进行ルーバーで処理し、すっきりと仕上げている



▲高架鉄道の側壁、高架の脚部、高架の裏に明るい色彩を施し圧迫感を和らげている。また高架下はバス停留所として利用されている



▲歩行者デッキの側壁をツタで覆うことによって、やわらかい印象を与えている



▲高架道路の両側の高木が圧迫感をやわらげている



▲高架道路の下の空間を広場として積極的に活用し、うるおいと親しみを与えている

- 川越市 川越駅前
- 川崎市 川崎駅前
- 名古屋市 若宮大通り

- 墨田区
- 川崎市
- 名古屋市 若宮大通り

広告物のデザイン

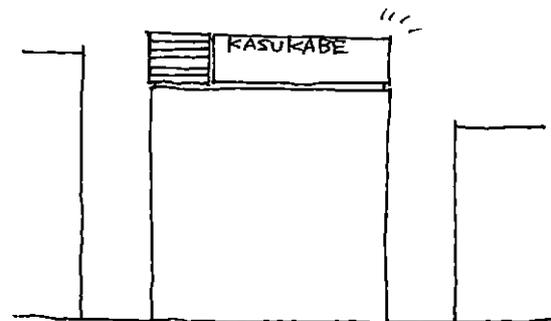
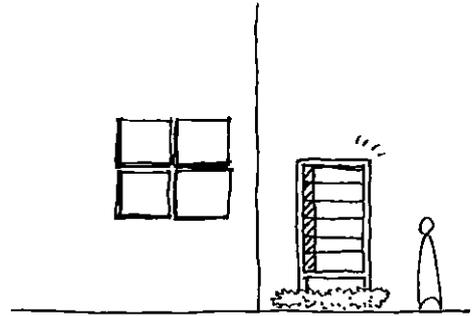
目立つことだけを主旨として考えた看板や広告物があふれたまちなみは、無秩序で混乱した印象を与えます。けばけばしい色の使用や過度の表現は避けて、まわりと調和した節度ある広告物を検討し、まちを個性的に演出しましょう。

○景観づくりのガイド

建築物と調和させよう

建築物を計画している段階から広告物について検討し、広告物の総数をおさえるように努めましょう。さらに、位置、大きさ、形態、色彩などを工夫して建築物と調和させましょう。

- ・ 建築物と色彩や材質をあわせる
- ・ 建築物と共通のデザインを盛り込む
- ・ 建築物と一体的にデザインする

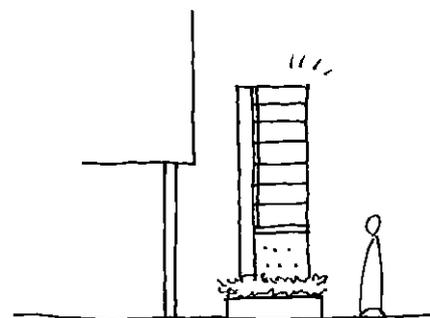


建築物と一体的にデザインする

目にやさしい表情をつくろう

まちや建築物に調和した広告物は、ちょっとした工夫でまちにアクセントを与えたり、目を楽しませたりする要素となります。

- ・ 集合化、集約化などによってすっきりとさせる
- ・ アクセントを与える要素としてデザインする
- ・ 質の高い色彩デザインによって演出する



広告物を集約化する

チェックポイント

- 形態や色彩などに配慮して、まちなみや建築物との調和に努めていますか？
- まちなみが雑然としないように設置個数を少なくしたり、集合化、集約化に努めていますか？

○景観づくりのアイデア



▲一体的な色彩計画により節度ある広告となっている



▲広告物を1階上部に建築物と一体化して集約し1階部分の表情づくりに役立っている



◀壁面から突出する広告物を両側に集合化しファサードをすっきりとさせている



◀案内塔を建築物本体と調和させ案内サインを小さくして集約することによってすっきりとした印象を与えている



▲案内サインを緑と組み合わせることによってアクセントを与え工夫をしている



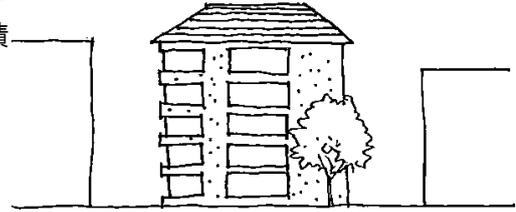
◀案内塔をシンボリックにデザインすることによってエントランス部分の演出に役立っている

- 新宿区
- 川崎市
- 千葉市

- 千代田区
- 港区
- 港区

色彩のデザイン

色彩は、景観のイメージを決定づけるほどの大きな影響力を持っています。とくに、外壁や屋根などの大きな面積の部分では、けばけばしい色の使用は避けましょう。



○景観づくりのガイド

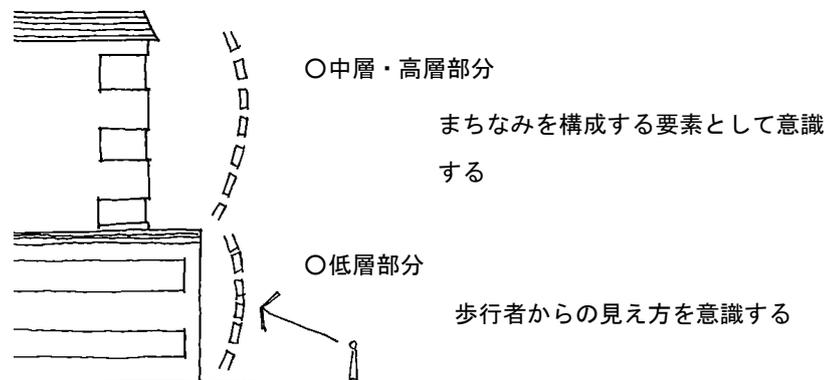
落ち着きを与えよう

外壁や屋根の基調となる色（ベースカラー）は、一般的に彩度をおさえると落ち着いたものとしてすることができます。とくに周辺の緑の多い場所や落ち着きのあるまちなみの中では、それらとの調和を心がけましょう。



全体のバランスを考慮しよう

色彩のデザインを検討するときには、全体のバランスに配慮したうえで、低層部と中層部以上の景観的な役割を考えることが必要です。また、節度ある強調色（アクセントカラー）は、まちににぎわい感を与えます。



チェックポイント

- 周辺環境やまちなみとの関わりの中で色彩のデザインを検討していますか？
- 外壁などの基調となる色は、彩度をおさえ、周辺環境に調和するよう努めていますか？
- アクセントカラーを使用するときは、全体のバランスを考慮していますか？

○景観づくりのアイデア



▲屋根と外壁の色彩、材質の調和をはかり、落ち着きと秩序のある地区の景観をつくり出している



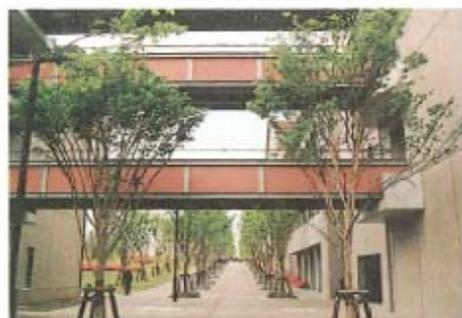
▲彩度をおさえ、周辺の緑との調和をはかっている



▲彩度や明度の差が比較的小さく、落ち着きと秩序あるまちなみ景観が形成されている



▲外壁のベースカラーをおさえ、旗の色彩をアクセントカラーとしてバランスに配慮しながら組み合わせることによって気品とにぎわいのある表情をつくり出している



▲デッキの側面の色彩に配慮することによってアクセントを与えている



▲煙突や工場の外壁にアクセントカラーのストライプをまわし、軽快なイメージを与えている

●多摩ニュータウン

●港区

●首都大学東京

●我孫子市 鳥の博物館

●武蔵野市

●横浜市

スペースのデザイン

ー1.オープンスペース・広場

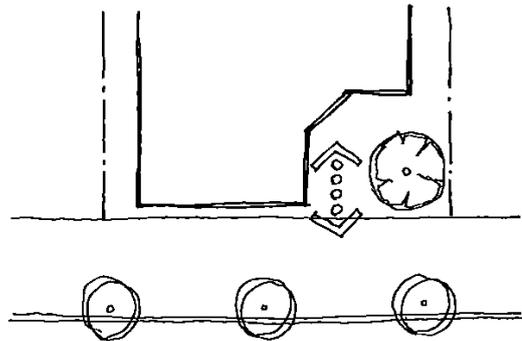
まちにゆとりやうるおいを与える上で、オープンスペースのデザインは重要な役割を持っています。敷地際の部分に積極的にオープンスペースを確保して、広がりやすさを提供し、まちの表情づくりに役立てましょう。

○景観づくりのガイド

道路空間との連続性に配慮しよう

オープンスペースを道路空間と一体的に整備したり、道路空間と連続させることによって、広がりのある空間をつくり出すことができます。

- ・ 周辺道路と連続した広場をつくり、広がりをつくる
- ・ 周辺道路との段差をなくし、一体的に整備する
- ・ 歩道と舗装をあわせて境界をなくす工夫をする

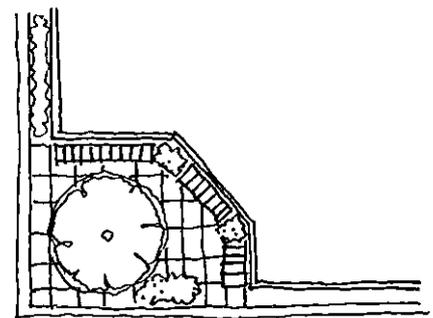


歩道と連続した広場をつくる

ゆとりを与える工夫をしよう

確保されたオープンスペースは、ちょっとした工夫によって魅力ある小空間となります。さらに、オープンスペースの舗装は、材質や色彩などを十分に吟味し、地域にふさわしいデザインを心がけましょう。

- ・ シンボルツリーによる演出や緑化を行う
- ・ 水辺空間を取り入れる
- ・ 彫刻やベンチなどを設置する
- ・ ライティング（照明など）によって演出する



シンボルツリーにより演出する

チェックポイント

- 道路空間との連続性に配慮して、広がりをつくり出していますか？
- まちなみにうるおい、やすらぎや魅力あるアクセントを与える工夫をしていますか？

○景観づくりのアイデア



▲壁面後退したエントランス部分に歩道と連続性をもたせた舗装を施し、一体感を与えている



▲角地の壁面後退した部分に歩道と連続性をもたせた舗装を施し、まちかどの小広場をつくり出している



▲既存樹木を活用した小広場を確保し、まちなみにゆとりを与えている



▲マンション、店舗と小広場の外装材をあわせて一体感を与えている



◀壁面後退した部分に小さな水辺空間をつくりうるおいを与えている



◀公開空地のコーナー部分にオブジェを設置し、まちかどにアクセントを与えている

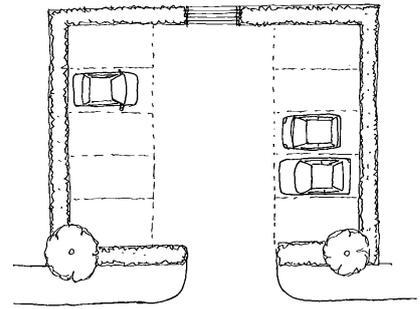
- 横浜市 関内ホール
- 古河市
- 相模原市

- 世田谷区
- 世田谷区
- 横浜市 馬車道

スペースのデザイン

—2.付属施設

駐車場、駐輪場やゴミ置き場などの建築物や工作物に付属する施設は、まちの景観を殺風景なものとしたり、雑然とした印象を与えやすい要素です。これらをまちなみに十分配慮して適切に配置し、うるおいを与えるスペースとして整えましょう。

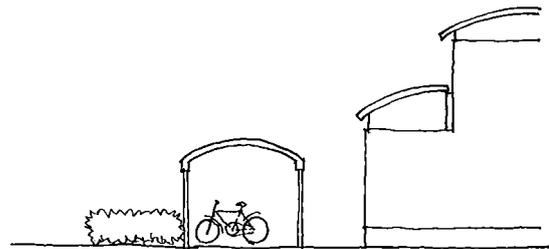


○景観づくりのガイド

周辺環境や建築物と調和させよう

敷地を計画している段階から、スペースの配置や人と車の動線を明確にして、周辺に配慮したデザインを心がけましょう。とくに、ゴミ置き場や物品置き場は、通りから直接見えない工夫をしましょう。

- ・ 建築物と一体的にデザインする
- ・ 建築物と色彩や材質をあわせる
- ・ 建築物と共通のデザインを盛り込む
- ・ 周辺から見えにくい工夫をする

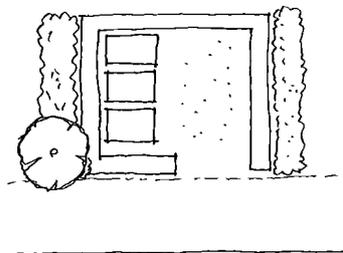


自転車置場を建築物と一体的にデザインする

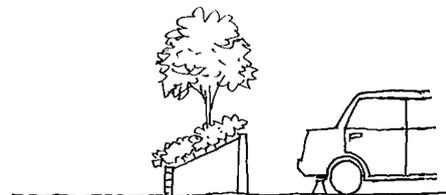
ゆとりを与える工夫をしよう

まちの貴重なオープンスペースとして修景することも検討しましょう。

- ・ 周辺を緑化するなどうるおいを与える工夫をする
- ・ 擁壁、緑、舗装などによって修景する



ゴミ置場を修景する



駐車場の周辺を緑化する

チェックポイント

- 建築物と一体的にデザインしていますか？
- 色彩や材質に配慮して周辺環境や建築物との調和に努めていますか？
- 緑などで修景したり、目立たせない工夫をしていますか？

○景観づくりのアイデア



▲駐輪場の屋根を建築物本体と一体的にデザインしている



▲駐輪場、ゴミ置場と建築物本体とのデザインをあわせて調和させている



▲駐車場の屋上や周囲を緑化し殺風景な景観とならないよう配慮している



▲駐車場の周囲を積極的に緑化し、うるおいを与えている



▲ゴミ置場に壁を立ち上げ、植栽帯を設けることによってうるおいのある景観づくりに努めている



▲ゴミ置場を緑で修景し、印象をやわらげている

●春日部市 豊春地区公民館

●多摩ニュータウン

●神戸市 六甲アイランド

●国分寺市

●越谷市

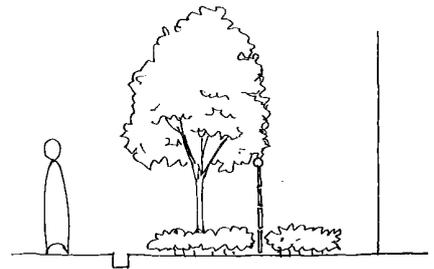
●日野市

境界のデザイン

—1.柵・フェンスなど

フェンス・柵などによる境界のデザインは通りの景観形成に大きな役割を持っています。プライバシーや保安の点を考慮に入れながら、明るく魅力を与える工夫を心がけましょう。

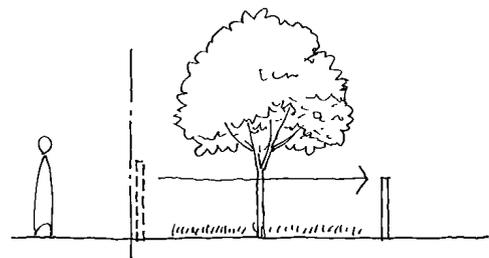
○景観づくりのガイド



開放的な空間をデザインしよう

必要以上にフェンスや柵を設置しないで、形態や配置の配慮によって、空間に広がりが見られるように工夫しましょう。

- ・フェンスに代わる境界のデザインを検討する 一線、ポール、柱など
- ・低くおさえる（1.2～1.5m程度）
- ・落ち着いた目立ちにくい色彩のものや、透過性の高いものを使用する
- ・設置する位置を後退させ、広がりをつくる

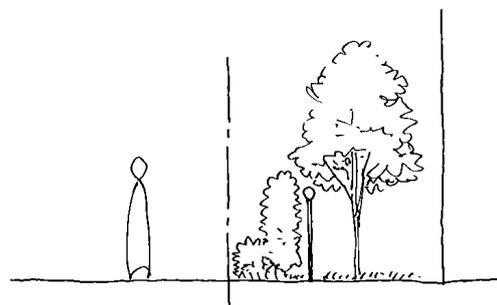


柵の位置を後退させて広がりを与える

まちなみにうるおいを与える工夫をしよう

緑と組み合わせたりするなどの工夫を行い、まちなみにアクセントを与えたり、演出する要素としてデザインしましょう。

- ・生け垣など緑と組み合わせる
- ・形態や色彩によって演出する
- ・ライティング（照明など）によって演出する
- ・地域のイメージに合わせてデザインする
- ・掲示用スペースなどに活用する



緑と組み合わせせてやさしい境界をつくる

チェックポイント

- 必要以上にフェンスや柵を設けず、開放的な空間のデザインに努めていますか？
- 目立たせないための工夫をしていますか？
- 緑と一体化するなどうるおいを与える工夫をしていますか？

○景観づくりのアイデア



▲柵を設けず緑によって境界を構成し、広がりとうるおいを与えている



▲柵を設けずフレームと地被植物によって境界を明示し、敷際を引き締めている



▲透過性の高い柵を使用することによって閉鎖感をやわらげている



▲既存の桜の後側に塀を設置し、桜をまちの景観づくりに役立てている



▲柵を生け垣と組み合わせてやわらかい境界をつくり出している



▲砂利の犬走り、板の腰壁と白壁の連続によって地域の特色づくりに役立てている

●世田谷区 世田谷ビジネススクエア

●世田谷区

●横浜市 南台小学校

●神戸市 ポートアイランド

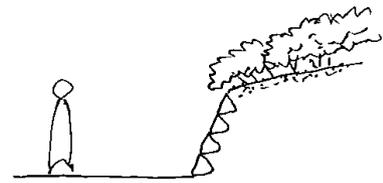
●世田谷区 用賀小学校

●飯田市 美術博物館

境界のデザイン

—2.擁壁・法面

擁壁や法面は、圧迫感、閉鎖感を与えやすい要素です。機能を満たしたうえで周辺環境になじませるよう努めるとともに、親しみを与えるよう整えましょう。

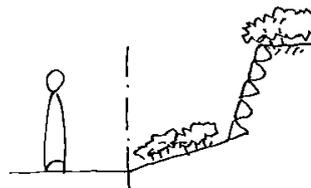


○景観づくりのガイド

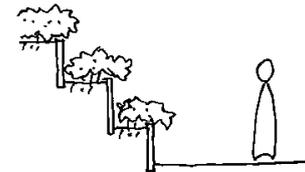
圧迫感をおさえ周辺環境と調和する工夫をしよう

地形や自然の素材を活用したり、位置や形態に配慮することによって、周辺環境との調和をはかりましょう。

- ・ 自然石や緑を活用する
- ・ 壁面、法面を後退させ、広がりをつくる
- ・ 分節したり、低くおさえる



擁壁を後退して法面と組み合わせる

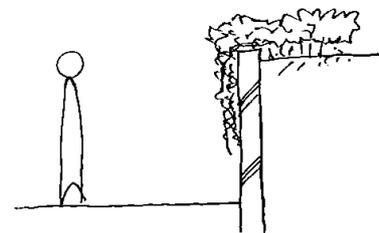


擁壁を分節する

親しみやすさややわらかさに配慮しよう

ちょっとした工夫によって、まちの景観づくりにやわらかさを与え親しみやすい要素となります。

- ・ 形態、仕上げに配慮し、表情を与える
- ・ 表面を緑で覆い、やわらかい表情をつくる
- ・ 緑化ウォールを使用するなど、緑の連続性をつくる



ツタなどで覆う

チェックポイント

- 自然の素材などを活用して、周辺環境との調和に努めていますか？
- まちの景観づくりに貢献するデザインを検討していますか？

○景観づくりのアイデア



▲擁壁を低くおさえ、建築物と材料をあわせることによって調和をはかっている



▲擁壁とベンチを一体的に整備し、また植栽を豊かに施すことによって親しみやすさに配慮している



▲低くおさえられた擁壁の上部をツタで覆うことによってやさらかさを与えている



▲擁壁をツタで覆うことによって圧迫感をやわらげている



◀ 敷際の法面を緑化ウォールで処理し、緑の連続性を強調している



▲法面を積極的に緑化することによってうるおいを与えている

●港区 アークヒルズ

●中央区

●首都大学東京

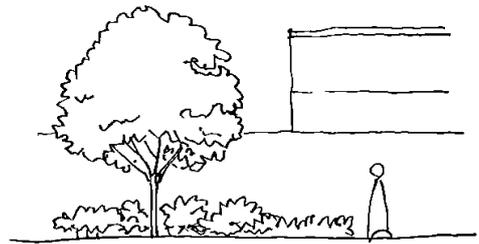
●港区

●渋谷区

●横浜市 たまプラーザ

緑のデザイン

緑は、まちなみにやわらかさとうるおいを与えるすぐれた要素です。そして、季節感を与えるなどの性質によって、豊かな表情をつくり出すことができます。このような緑の性質や役割を考慮した緑化をはかりましょう。

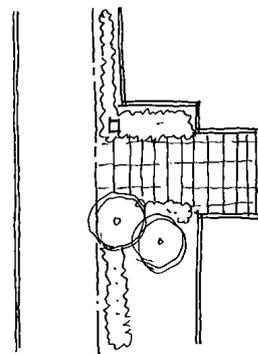


○景観づくりのガイド

周辺環境や建築物と調和させよう

緑は、大規模な建築物などとの間に生じやすい圧迫感や違和感をやわらげることができます。

- ・ 既存樹林や地形を活用する
- ・ 建築物と調和する緑の配置を検討する
- ・ 建築物の足元を緑化する
- ・ アプローチ空間や通り沿いを緑化する
- ・ 緩衝緑地を設置する



アプローチ空間を緑化する

彩りのある表情をつくろう

緑を大切にすることが、緑のデザインの基本です。樹林を緑としてひとまとめに扱うのではなく、その特性を考慮して植栽しましょう。

- ・ シンボルツリーによって演出する
- ・ 樹木の特性を活用して季節感を演出する
- ・ 花などによってアクセントを与える

花の美しい樹木	コブシ、サクラ類、ハナミズキ、ツツジ類など
新緑の美しい樹木	ケヤキ、クスノキ、カツラ、カエデ類、ベニカナメモチなど
紅葉の美しい樹木	(紅色系) イロハモミジ、トウカエデ、ナンキンハゼ、ドウダンツツジなど (黄色系) イチョウ、カツラ、ユリノキ、イタヤカエデなど
実の美しい樹木	ナンテン、サンゴジュ、ムラサキシキブ、ピラカンサなど

チェックポイント

周辺環境や地域の特性を考慮して緑のデザインをしていますか？

樹木の特性を考慮して季節感を演出していますか？

○景観づくりのアイデア



▲敷地内に歩行者ルートを確認し植栽によって緑豊かな空間をつくり出している



▲アプローチの両側を緑化し、やさしい空間をつくり出している



▲落葉樹（ケヤキ）によるシンボルツリーによって季節感を演出している



▲歩道に面した部分を花で演出し彩りのある表情を演出している



▲建物の足もとを花で飾り、はなやかな表情をつくり出している



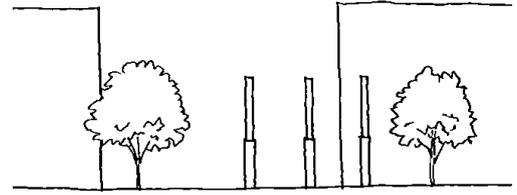
▲プランターによってエントランス部分へアクセントを与えている

- 中央区
- 渋谷区
- 神戸市 しあわせの村

- 神戸市 六甲アイランド
- 新宿区
- 渋谷区

外部空間の演出 —ストリートファニチュア^(※)・彫刻・照明など

ベンチ、ゴミ箱などのストリートファニチュアや彫刻、あるいは照明、照明灯などは、まちなみを美しく演出し、施設の魅力を高めることができます。

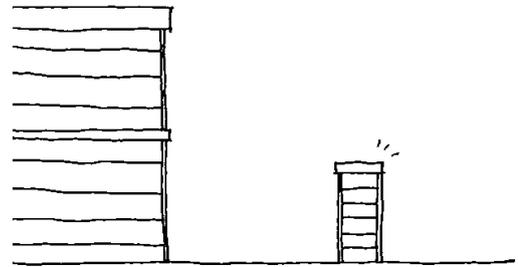


○景観づくりのガイド

周辺環境や建築物と調和させよう

建築物を計画している段階から検討しましょう。そして、まちへの共感を与え、設置する場所をわきまえて、そこにふさわしい演出を工夫しましょう。

- ・ 周辺環境の特性を活用する
- ・ 周辺からの見え方に配慮する
- ・ 自然石や木材を使用する
- ・ 建築物と共通のデザインを盛り込む
- ・ 色彩のデザインを工夫する

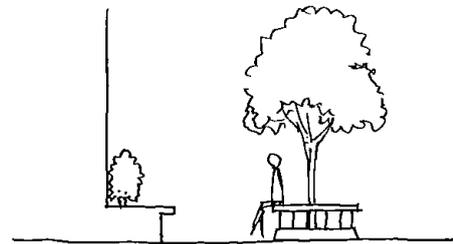


建築物と共通のデザインを盛り込む

親しみやシンボル性のある表情をつくろう

歩行者に配慮することによって施設はさらに身近なものとなります。歩行者スペースに適合した演出方法、数、位置、大きさなどを検討しましょう。

- ・ 建築物や植栽帯と一体化する
- ・ 水、風、音、光などが感じられる演出を検討する
- ・ 敷地全体の照明計画をつくり、夜の表情を演出する



建築物と一体化する

チェックポイント

- 周辺環境や建築物に調和した演出方法を検討していますか？
- 歩行者や歩行者スペースに対して配慮し、設置するものの位置、数、大きさなどは、その場所に適合していますか？

○景観づくりのアイデア



▲周辺からの見え方に配慮し、コーナー部分に彫刻を設置し、表情づくりに役立っている



▲外部空間のデザインと彫刻を調和させている



◀電話ボックスのデザインを建築物本体とあわせて調和させている



▲建築物と一体化されたベンチを設置し、施設の親しみやすさに配慮している



▲樹木の支柱と照明を一体化し、広場に印象的な表情をつくり出している



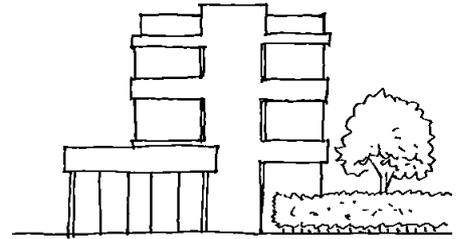
▲周辺環境の中でランドマーク（目印）となる塔をライトアップすることによってシンボル性のある夜の表情をつくり出している

- 横浜市
- 横浜市 青葉台
- 新宿区

- 中央区
- 世田谷区
- 首都大学東京

維持管理の計画

建築物や工作物などは、完成したときだけではなく、いつまでも美しく保ち、まちの景観づくりに役立てることが重要です。計画の段階からエイジング（時代の積み重ね）と維持を考慮しましょう。

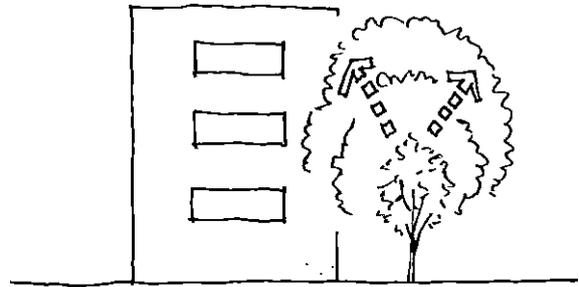


○景観づくりのガイド

時の積み重ねや維持管理を考慮した計画をしよう

建築物や工作物を計画しているときから維持管理の計画ははじまっています。

- ・ 汚れにくく、耐久性のある材料を選択する
- ・ 経年変化を活かす材料を選択する
- ・ 補修が行いやすい工夫をする

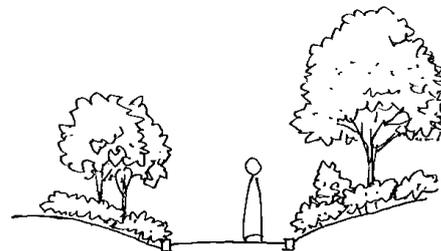


経年変化を考慮した計画をつくる

維持管理のシステムをつくろう

完成した建築物や工作物などを美しく保つために、計画的な維持管理の体制やシステムが必要です。また、なかでも緑の維持管理は重要です。

- ・ 維持管理する体制をつくる
- ・ 維持管理の費用を確保する
- ・ 改修や修繕の計画をたてる



緑のメンテナンスを充実させる

チェックポイント

- 汚れにくく、耐久性のある材料を選択していますか？
- 維持管理や補修を考慮していますか？
- 維持管理の体制やシステムをつくっていますか？

○景観づくりのアイデア



▲汚れが目立たない材料を外壁に使用し、まちの景観を維持している



▲外部空間に自然石や緑を多く使用し、時間の経過の中で周辺環境になじませる工夫をしている



▲外壁の仕上げや屋根の材料（銅板）などに配慮し時間の経過とともに周辺になじませる工夫をしている



▲経年変化を活かした材料の選択に加えて、ショーウィンドウなどの魅力を高める工夫によって演出している



▲緑の維持管理システムをつくり外構部分を美しく保っている



▲手入れの行きとどいた緑によって清潔で整った広場空間が維持されている

- 神戸市 北野
- 世田谷区 世田谷美術館
- 横浜市

- 神戸市
- 神戸市
- 川崎市

4.景観形成基準

この景観形成基準は、春日部市景観条例に基づく行為の届出にあたり、配慮して頂きたい事項を定めたものです。計画している建築物等の届出を行う前に、もう一度景観形成基準に適合しているかどうか確認してください。

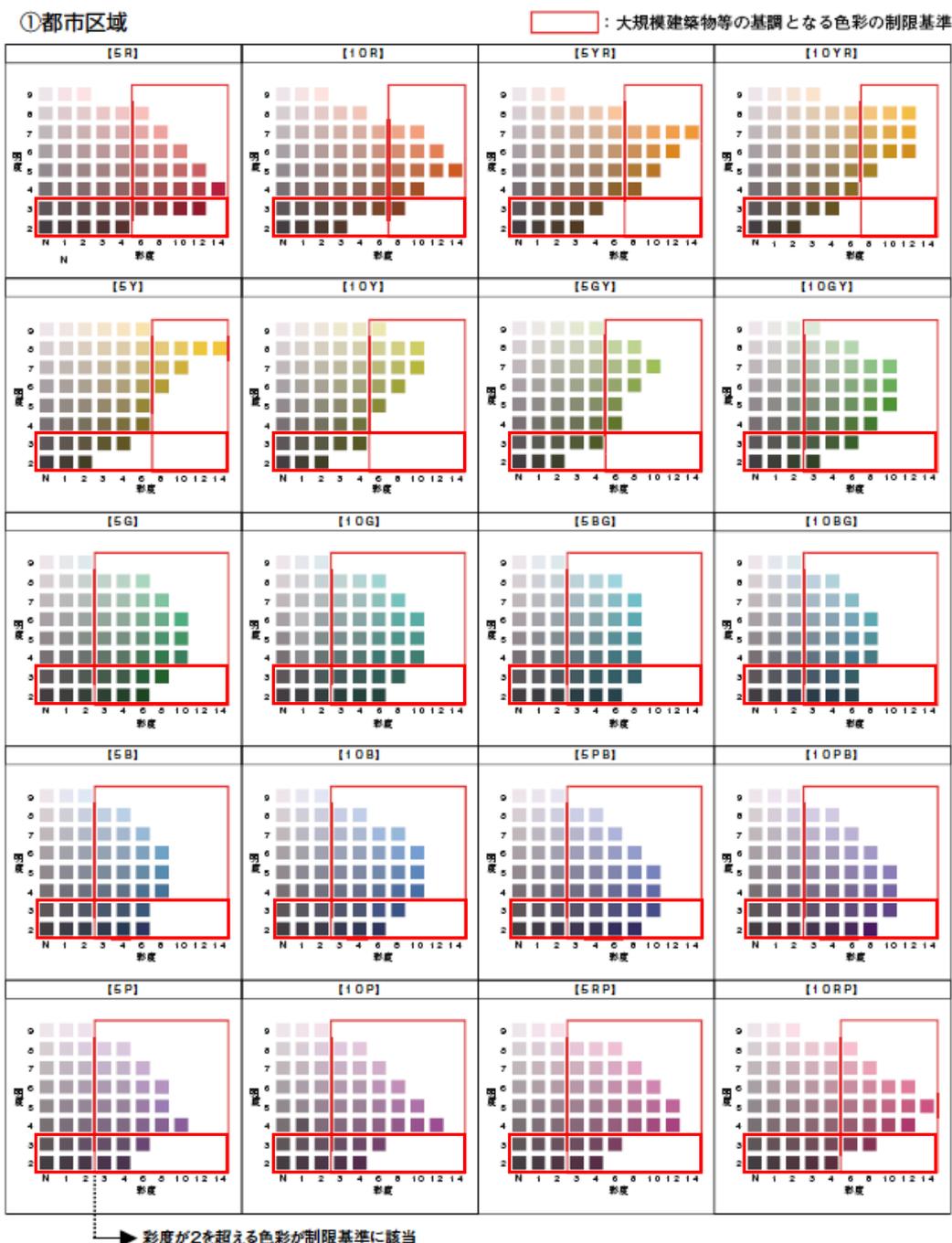
景観形成基準

項目	景観形成基準
敷地の計画	<ul style="list-style-type: none"> □造成等土地の区画形質の変更を行う場合は、既存の地形、樹林、水辺等を活用し、周辺になじむようにする。 □駐車場は、路面が露出しないような配置とし、植栽や緑化舗装等で修景を行う。 □周辺の景観資源（歴史的環境、緑、水辺など）を考慮するとともに、周辺からの見え方に配慮する。
建築物等の壁面の位置	<ul style="list-style-type: none"> □周辺と調和した壁面の位置とする。セットバックしてオープンスペースを単に作るだけでなく、街並みとして連続させる必要がある場合などは、壁面線をそろえたり、コーナーや部分的に凹凸を付けるなど、通りの性格に合わせた壁面の位置とする。
建築物等の形態及び意匠	<ul style="list-style-type: none"> □周辺の街並みと調和した形態やボリュームとする。 □通り景観に対して圧迫感のないよう、分節化等の軽減策を講じる。 □外壁や屋根の素材は、周辺と調和する素材とする。
建築物の付属物及び屋外設備	<ul style="list-style-type: none"> □屋外階段は、建築物本体土地と調和した構造、形態、素材、色彩とする。 □付属施設は周辺の通りから目立たないように配置し、必要に応じて植栽やルーバー等で修景を行う。
工作物	<ul style="list-style-type: none"> □建築物のデザインに調和させ、周辺に与える突出感や違和感を軽減させるものとする。
敷地の境界部及び緑化	<ul style="list-style-type: none"> □隣接地との関係に配慮し、ゆとりと潤いのあるオープンスペースの創出を図る。 □通りから見える緑被率を高める工夫を行う。
広告物	<ul style="list-style-type: none"> □屋外広告物は、周辺景観と調和した位置、大きさ、デザインとし、できるだけ集約する。 □駅周辺は、広告物が街並みの魅力を高めるような質の高いデザインとする。 □高層の屋上広告はできるだけ避け、建物のスカイラインやシルエットを重視する。 □主要幹線道路沿いの屋外広告は、周辺の住宅環境に影響を及ぼさないような表示、掲出とする。 □歴史的景観や自然的景観を有する地区では、それらの景観資源に特段に配慮した表示、掲出とする。 □動光サイン、点滅サイン、液晶サインは中高層階及び屋上において、できるだけ設置を避ける。
色彩	<ul style="list-style-type: none"> □建築物の外壁及び屋根、又は工作物の外装には、別表に掲げる色彩を使用しないものとする。なお、石、木、土の素材を使用する場合を除く。
屋外照明	<ul style="list-style-type: none"> □商業地域を除いて、点滅する光源は使用しない。 □屋外照明は、周辺環境に調和した光色や配光とし、不快とならないようグレア（まぶしさ）対策を図るものとする。
物件の堆積	<ul style="list-style-type: none"> □堆積の高さは3mを超えないようにすること。 □堆積物のある敷地境界部は、緑化等で修景を図り、堆積物を敷地境界から1m以上離すこと。 □堆積物の色彩は、建築物・工作物の色彩基準を適用し、各立面につき、当該面積の1/5以内の範囲であれば、基準は適用しない。

別表 色彩基準（日本工業規格Z 8 7 2 1に定める色相、明度、彩度の三属性によるマンセル値）

色 相	明 度	彩 度
7. 5 R (赤) ~ 7. 5 Y (黄)	3 以下	彩度 6 を超える
7. 5 RP (紫) ~ 7. 5 R (赤) (7. 5 R は含まない) 7. 5 Y (黄) ~ 7. 5 GY (黄緑) (7. 5 Y は含まない)	3 以下	彩度 4 を超える
7. 5 GY (黄緑) ~ 7. 5 RP (紫) (7. 5 GY 及び 7. 5 RP は含まない)	3 以下	彩度 2 を超える

色彩基準として定められた色相（以下の表において、赤枠で囲まれた範囲）は、建築物等の各立面の面積の5分の1を超えて使用できません。



出典：埼玉県景観計画（別表 大規模建築物等の基調となる色彩の制限基準 ①都市区域）

チェックポイント

■敷地の計画

○敷地の計画

その他の配慮点など

<p>1. 大規模な建築物等</p> <p><input type="checkbox"/> 敷地と建築物を一体的に計画し、小広場などのオープンスペースの確保に努めていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺環境や敷地の特徴を把握し、それを活用していますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 立地条件や周辺からの見え方を考えて配置を検討していますか？</p>	
<p>2. 大規模な開発</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺地域を十分に調査し、周辺と調和する景観づくりに取り組んでいますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 敷地の特徴を把握し、それを活用していますか？</p> <p><input type="checkbox"/> まとまりと調和のある建築物のデザインを検討していますか？</p>	

■要素のデザイン

○建築物のデザイン

その他の配慮点など

<p>1. 規模・形態</p> <p><input type="checkbox"/> 建築物の規模、形態、屋根の形状などを周辺環境に調和させていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 壁面の位置の工夫によって圧迫感をおさえるよう努めていますか？</p>	
<p>2. 外壁・ファサード</p> <p><input type="checkbox"/> まちなみに連続性を与える工夫をしていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 1、2階部分の用途やデザインに連続性や表情を与える工夫をしていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 夜間における表情づくりを検討していますか？</p>	
<p>3. アプローチ・エントランス</p> <p><input type="checkbox"/> 歩行者スペースを確保してゆとりをつくり出していますか？</p> <p><input type="checkbox"/> エントランスへの誘導や施設の内容などがわかりやすいデザインの配慮をしていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 高齢者や障がい者に対して配慮していますか？</p>	
<p>4. 屋外階段・バルコニーなど</p> <p><input type="checkbox"/> 建築物と一体的にデザインしていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 色彩や材質などに配慮して、建築物との調和に努めていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺からの見え方を意識して、目立たせない工夫をしていますか？</p>	
<p>5. 付属物</p> <p><input type="checkbox"/> 配置や色彩などに配慮して、建築物との調和に努めていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺から見えにくい工夫をしていますか？</p>	

○工作物のデザイン	その他の配慮点など
1. 煙突・塔・高架水槽など <input type="checkbox"/> 周辺からどのように見えるかを検討していますか？ <input type="checkbox"/> 素材の選択や色彩の配慮をしていますか？ <input type="checkbox"/> 周辺環境との違和感をおさえるように緑化などの工夫をしていますか？	
2. 高架道路・高架鉄道 <input type="checkbox"/> 橋脚や桁の形態や色彩に配慮し、圧迫感をおさえるよう努めていますか？ <input type="checkbox"/> 橋桁の下の空間を活用するなど周辺を修景し、うるおいを与えるよう努めていますか？	
○広告物のデザイン	その他の配慮点など
<input type="checkbox"/> 形態や色彩などに配慮して、まちなみや建築物との調和に努めていますか？ <input type="checkbox"/> まちなみが雑然としないように設置個数を少なくしたり、集合化、集約化に努めていますか？	
○色彩のデザイン	その他の配慮点など
<input type="checkbox"/> 周辺環境やまちなみとの関わりの中で色彩のデザインを検討していますか？ <input type="checkbox"/> 外壁などの基調となる色は、彩度をおさえ、周辺環境に調和するよう努めていますか？ <input type="checkbox"/> アクセントカラーを使用するときは、全体のバランスを考慮していますか？	

■外部空間のデザイン

○スペースのデザイン	その他の配慮点など
1. オープンスペース・広場 <input type="checkbox"/> 道路空間との連続性に配慮して、広がりをつくり出していますか？ <input type="checkbox"/> まちなみにうるおい、やすらぎや魅力あるアクセントを与える工夫をしていますか？	
2. 付属施設 <input type="checkbox"/> 建築物と一体的にデザインしていますか？ <input type="checkbox"/> 色彩や材質に配慮して周辺環境や建築物との調和に努めていますか？ <input type="checkbox"/> 緑などで修景したり、目立たせない工夫をしていますか？	
○境界のデザイン	その他の配慮点など
1. 柵・フェンスなど <input type="checkbox"/> 必要以上にフェンスや柵を設けず、開放的な空間のデザインに努めていますか？ <input type="checkbox"/> 目立たせないための工夫をしていますか？ <input type="checkbox"/> 緑と一体化するなどうるおいを与える工夫をしていますか？	
2. 擁壁・法面 <input type="checkbox"/> 自然の素材などを活用して、周辺環境との調和に努めていますか？ <input type="checkbox"/> まちの景観づくりに貢献するデザインを検討していますか？	

○緑のデザイン

その他の配慮点など

周辺環境や地域の特性を考慮して緑のデザインをしていますか？

樹木の特性を考慮して季節感を演出していますか？

○外部空間の演出

その他の配慮点など

周辺環境や建築物に調和した演出方法を検討していますか？

歩行者や歩行者スペースに対して配慮し、設置するものの位置、数、大きさなどは、その場所に適合していますか？

■維持管理の計画

○維持管理の計画

その他の配慮点など

汚れにくく、耐久性のある材料を選択していますか？

維持管理や補修を考慮していますか？

維持管理の体制やシステムをつくっていますか？

MEMO

--

